



平成27年4月25日発行（隔月一回25日発行）

Circulation Journal 第79巻5号 付録（通巻第142号）

日本循環器学会 会 告

Contents

- 1** 2015年度実施 代議員(社員)選挙のお知らせ
 - 立候補開始のご案内
 - 「オンライン投票システム導入」と「書面投票申請」のご案内
 - 代議員(社員)選挙要領
- 8** 第79回一般社団法人日本循環器学会社員総会のご案内
- 9** 第80回日本循環器学会学術集会
 - 開催概要
 - プレナリーセッション、シンポジウム公募演題募集要項
 - ホームページ案内・一般演題応募要領
 - Late Breaking Clinical Trials 演題募集要項
 - Late Breaking Cohort Studies 演題募集要項
 - 学会賞応募要領
- 34** 2015年度日本循環器学会留学支援助成募集要項
- 35** 編集委員長からのメッセージ
- 38** 2015年度 Translational Research 振興事業応募要領
- 40** 循環器専門医制度
 - 第79回日本循環器学会学術集会の研修単位について
 - 学術集会・地方会での専門医研修単位登録について
 - 2015年度 日本循環器学会認定循環器専門医資格認定審査について
 - 専門医認定更新の手続きについて
 - 専門医認定更新研修の必修化について
 - 「循環器専門医カード」再発行のご案内
 - 循環器専門医カード再発行申請書
 - その他専門医制度に関する手続き・問い合わせ
- 51** 地方会・関連学会・研究会情報
 - 専門医研修単位認定学会情報
 - 海外学会情報
 - その他の学会開催情報
 - 研究助成
- 56** ACLS 講習会情報
- 62** 映像教材販売のご案内
- 69** 和文論文投稿誌「心臓」のご案内
- 70** 事務局からのお知らせ
 - 登録事項変更届
 - 学会誌 Circulation Journal の送本について

**2015
No.3**

本誌の内容については、会員限定ホームページでご覧になれます。 <http://www.j-circ.or.jp/>

★次号2015 NO.4は、6月25日発行予定です。

2015年度実施 代議員(社員)選挙のお知らせ

一般社団法人日本循環器学会
会員各位

平素は学会活動にご尽力を賜り誠にありがとうございます。

さて、現在就任中の社員が2016年3月31日付けで任期満了となることに伴い、2016年度から就任する社員を選出するため、下記スケジュールにおいて代議員(社員)選挙を行います。本選挙の選挙権および被選挙権の資格を得るためには、下記の条件を満たす必要がございますのでご注意ください。

選挙資格者 (投票)	・正会員であること(国籍が海外で海外在住の場合を除く) ・2015年3月31日現在において2014年度会費を納入済みであること(※) (注：本会の名誉会員および特別会員は、上記に関わらず選挙権を有する)
被選挙資格者 (立候補)	・正会員であること(国籍が海外で海外在住の場合を除く) ・2015年3月31日現在において2014年度会費を納入済みであること(※) ・立候補すること(立候補については後日ホームページにて案内) ・就任時(2016年4月1日現在)に65歳未満であること

※3月31日現在で、学会の口座に着金していることが必要です。

着金までに1週間程度かかる場合がございますので、早目のお手続きをお願い致します。

〈代議員(社員)選挙の概要〉

【立候補・投票の電子版と書面の併用】

立候補および投票について、今回からオンライン上で行うこととなります。ただし、希望者については従来の書面による対応も可能となります(4ページ参照)。詳細等は随時ホームページに掲載させていただきます。

【定数等】

全国で「281名」の予定で、支部ごとの振分け数は「2015年3月31日現在の支部ごとの選挙資格者数」に基づき、2015年度第1回理事会(6月開催)で決定されます。

【選挙における専門分野】

立候補いただく際に、専門分野をご記入いただきます。各支部における代議員のうち、原則として10%以上を外科系分野、5%以上を外科・内科以外の分野を専門とする正会員といたします。また、各支部における女性会員の比率に応じて、各支部から女性の代議員を選出します。

【評議員の廃止】

一般社団法人移行に伴い、2012年度から「評議員」は「社員」に置き換えられました。これに伴い、法定上の「社員」を選出するための選挙を「代議員選挙」と呼称します。

また「推薦評議員制」も廃止されたため、すべての代議員は選挙により選ばれることとなります。

【選挙実施スケジュール】

2015年5月1日～5月31日	立候補(ホームページ画面からオンライン申請)／書面での投票希望申請
6月上旬～7月1日	縦覧期間
7月10日	被選挙資格者 確定／書面投票希望申請 締切
8月中	選挙資格者に投票用パスワード(希望者は投票用紙)を送付
8月中～10月末	投票(ホームページ画面からオンライン投票・希望者は書面での投票)
11月初旬	当選者確定
2016年4月1日	新代議員(社員)就任

今後、選挙に関する詳細はホームページを通してご案内いたしますので、随時ご確認いただきますようお願い致します。

〈選挙に関するお問合せ先〉 一般社団法人日本循環器学会 事務局 総務担当
〒100-0011 東京都千代田区幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F
TEL：03-5501-0861／FAX：03-5501-9855／E-mail：soumu@j-circ.or.jp

立候補開始のご案内

2015年度実施の代議員(社員)選挙の立候補の受け付けを開始いたします。

1. 被選挙資格者：本選挙の被選挙資格者となるためには、下記の要件を全て満たす必要があります。

- 正会員であること(国籍が海外で海外在住の場合を除く)
- 2015年3月31日現在において2014年度会費を納入済みであること
- 就任時(2016年4月1日現在)に65歳未満であること
- 立候補すること

※2011年実施の代議員選挙から「推薦評議員制」は廃止され、全ての社員は選挙によって選ばれます。
よって、社員候補者となるためには、“必ず”立候補する必要がありますので、ご注意ください。

2. 立候補期間・縦覧期間

- 立候補期間(立候補受け付け期間)：2015年5月1日(金)～5月31日(日)
- 縦覧期間(立候補の追加・取下げ等の受け付け期間)：立候補期間終了後～7月1日(水)

3. 立候補の方法

- 本会ホームページ上から入力(オンライン立候補)：
本会ホームページ上から、必要事項を入力いただき完了します。
- 書面の立候補届の提出：
書面の立候補届に必要事項を記入いただき、学会事務局に郵送、FAX、メールのいずれかにてご提出ください。(ホームページ上にWordデータもご用意しております。)

4. 選挙地区

選挙は支部毎に実施することとなります。なお、立候補者の選挙の地区(支部)は、立候補者の「事務局に届け出された勤務先または自宅の住所」に属する支部となります。

5. 選挙における専門分野：立候補いただく際に、専門分野をご記入いただきます。

内科系／外科系／小児科系／その他分野(基礎含む)

※各支部における代議員は、原則として10%以上を外科系、5%以上を小児科系及びその他分野(基礎含む)から選出します。また、各支部における女性正会員の比率に応じ、女性の代議員を選出します。

〈立候補届送付先・選挙に関するお問合せ〉 一般社団法人日本循環器学会 事務局 総務担当
〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F
TEL：03-5501-0861／FAX：03-5501-9855／E-mail：soumu@j-circ.or.jp

一般社団法人日本循環器学会
2015年度実施 代議員(社員)選挙
立候補届

私は、日本循環器学会 代議員選挙に際し、代議員(社員)候補者として立候補いたします。

年 月 日

氏名【自署】	
氏名(フリガナ)	
性別【〇印】	男性 女性
専門分野【〇印】	内科 外科 小児科 その他(基礎含む)
生年月日【西暦】	年 月 日
選挙地区【〇印】 (所属先 又は 自宅)	北海道・東北・関東甲信越・東海・北陸・近畿・中国・四国・九州
会員番号	
所属先名称 (例. 〇〇大学 循環器内科)	
所属先役職 (例. 教授)	
連絡先住所	〒
電話番号	(直通:)
ファックス番号	
E-mail	

〈参考：選挙地区〉

北海道(北海道)／東北(青森・秋田・岩手・福島・山形・宮城)／関東甲信越(茨城・神奈川・群馬・埼玉・千葉・東京・栃木・長野・新潟・山梨)／東海(愛知・岐阜・静岡・三重)／北陸(石川・富山・福井)／近畿(大阪・京都・滋賀・奈良・兵庫・和歌山)／中国(岡山・島根・鳥取・広島・山口)／四国(愛媛・香川・高知・徳島)／九州(大分・沖縄・鹿児島・熊本・佐賀・長崎・福岡・宮崎)

※お届けいただいた地区と事務局が管理するデータベース上の地区とが異なる場合、確認のためご連絡する場合がございます。

〈送付先〉〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F
FAX: (03)5501-9855／E-mail: soumu@j-circ.or.jp

「オンライン投票システム導入」と「書面投票申請」のご案内

2015年度実施の代議員(社員)選挙ですが、今回からインターネットを利用して投票する「オンライン投票システム」が導入されます。大変便利なオンライン投票システムを是非ご活用頂きますようお願い致します。

ただし、希望者については、これまで通りの「書面の投票用紙(マークシート)による投票」も可能となっております。書面での投票をご希望の場合、「書面投票」申請書に必要事項を記載の上、学会事務局に郵送、FAX、メールのいずれかにてご申請ください(お電話での申請は不可となります)。

申請書の提出期限は、2015年7月10日(必着)です。

この申請がない場合は、自動的にオンラインでの投票となります。特にインターネット環境の整っていない正会員の先生方におかれましては、書面による投票の申請をお願い致します。

選挙資格者：本選挙の選挙資格者となるためには、下記の要件を全て満たす必要がございます。

- 正会員であること(国籍が海外で海外在住の場合を除く)
 - 2015年3月31日現在において2014年度会費を納入済みであること
- ただし、本会の名誉会員および特別会員は、上記に関わらず選挙資格を有する

投票方法：下記①または②のいずれかにより投票を行っていただきます。

① 本会ホームページ上から投票(オンライン投票)

※申請は不要(申請の無い選挙資格者が対象)

- オンライン投票画面ログインのためのパスワードを郵送いたします(8月中旬頃)
- 本会ホームページ上から、必要事項を入力いただき投票となります

② 書面の投票用紙による投票

※申請が必要(期間内に申請のあった選挙資格者が対象)

- 投票用紙(マークシート)を郵送いたします(8月中旬頃)
- 書面の投票用紙に必要事項を記載のうえ、学会事務局に送付いただきます。

「書面投票」申請期間：2015年5月1日(金)～7月10日(金)必着

投票期間：2015年8月中旬頃～10月31日(土)

〈申請書送付先・選挙に関するお問合せ〉 一般社団法人日本循環器学会 事務局 総務担当
〒100-0011 東京都千代田区千代田1-1-1 帝国ホテルタワー18F
TEL：03-5501-0861／FAX：03-5501-9855／E-mail：soumu@j-circ.or.jp

一般社団法人日本循環器学会
2015年度実施 代議員(社員)選挙
「書面投票」申請書

私は、日本循環器学会 代議員選挙に際し、投票を「書面で行うこと」を希望するため、ここに申請いたします。

年 月 日

会員番号：	生年月日：19 年 月 日(歳)
フリガナ：	
会員氏名：(旧姓名：)	
勤務先： 名 称 部・科 所在地 〒 - 役 職	
代 表 TEL() -	FAX() -
内線	
直 通 TEL() -	FAX() -
自 宅：〒 -	
TEL() -	FAX() -
E-mail：	

投票用紙送付希望先【〇印】	勤務先 ・ 自宅
学会からご送付する定期的な刊行物や会費案内等については、本申請書のご提出後から上記〇印を付けていただいた「投票用紙送付希望先」へご送付させていただきます。 ただし、上記の送付希望先への送付は今回の投票用紙のみとして、もう一方の住所を「刊行物・会費案内等送付先」として設定することを希望される場合には、右□内にチェックを記載してください。	
	□

*選挙における投票地区は、「刊行物・会費案内等送付先」の地区となります。

*ご提供いただきました個人情報は、学会サービスの提供その他本会の事業目的に沿って行う活動およびこれに付随する業務を行う目的の範囲内においてのみ利用させていただきます。

*重要なお知らせを E-mail でお届けする機会が増えております。ぜひメールアドレスをご登録ください。

◆オンライン投票をご希望の場合、本申請書をお送りいただく必要はありません◆

〈送付先〉〒100-0011 東京都千代田区幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F
FAX：(03)5501-9855／E-mail：soumu@j-circ.or.jp

代議員(社員)選挙要領

2015年 1 月23日制定

1. 選挙地区

選挙地区は、支部の9区とする。

2. 定 数

- (1) 総選出数は全国で281名とし、全員を選挙により選出する。
- (2) 支部ごとの選出定数は、2015年 3 月31日現在における2014年度会費納入済みの正会員数を基礎数とし、その百分率に基づき、理事会において決定する。

◎支部選出代議員数(2015年度第1回理事会(2015年 6 月 5 日開催)承認予定)

北海道支部	●名	東北支部	●名	関東甲信越支部	●名
東海支部	●名	北陸支部	●名	近畿支部	●名
中国支部	●名	四国支部	●名	九州支部	●名

- (3) 各支部から選出する代議員数の10パーセント以上は、外科系会員でなければならない。
- (4) 各支部から選出する代議員数の5パーセント以上は、内科・外科以外を専門とする会員であることが望ましい。
- (5) 各支部から選出する代議員のうち、当該支部の正会員数に対する女性会員の割合に応じた人数以上は、女性の正会員から選出しなければならない。ただし、当該割合が1名に満たない場合は選出しなくてもよい。
- (6) 本条(3)(4)(5)に定める人数は、(2)に定める基礎数により、各支部選挙管理委員会において定める。

3. 中央選挙管理委員会及び支部選挙管理委員会の設置

- (1) 中央選挙管理委員会は、選挙実施年度の監事を委員長とし、支部選挙管理委員会委員長により構成し、中央選挙管理委員会を学会事務局(東京)におく。
- (2) 各支部は、原則として支部監事を支部選挙管理委員長とし、委員若干名を定め、支部選挙管理委員会を2015年 5 月31日までに設置する。

4. 被選挙資格者(立候補)

[① 被選挙資格]

- (1) 被選挙資格者は、2015年 3 月31日(以下基準日という)現在において、2014年度会費を納入済みの正会員で、立候補した者とする。ただし、就任時(2016年 4 月 1 日)に満65歳以上の者は、選出しないものとする。また、国籍が海外で海外在住の正会員も資格対象外とする。
- (2) 立候補は、5月31日までに電子立候補システムか書面での提出のいずれかにより行う。

[② 被選挙資格者名簿の公示及び縦覧]

- (1) 被選挙資格者名簿は、本会の会告およびホームページにて選挙地区ごとに公示し、縦覧に供する。
- (2) 縦覧期間は、2015年 6 月 1 日から同年 7 月 1 日の1か月とする。
- (3) 選挙資格者の選挙地区は、本会に届け出のある地区とする。選挙地区の変更を求めるときは、事由を付し、現公示地区及び変更地区を明記して、上記縦覧期間中に中央選挙管理委員長宛に申請する。
- (4) 資格について疑義の申し立てをするときは、疑義及び事由を付し、公示地区を明記して、縦覧期間中に中央選挙管理委員長宛に申請する。

[③ 被選挙資格者名簿の確定]

- (1) 2015年 7 月10日に被選挙資格者を確定し、確定名簿を本会ホームページにて公示する。

5. 選挙資格者(投票)

[① 選挙資格]

- (1) 選挙資格者は、基準日現在において、2014年度会費を納入済みの正会員とする。ただし、国籍が海外で海外在住の正会員は資格対象外とする。なお、本学会名誉会員及び特別会員は、この規定に拘らず、選

挙権を有する。

- (2) 選挙資格者名簿は作成しない。

[② 選挙資格者の確定]

- (1) 選挙資格者は、9支部の選挙地区のいずれかにおいて投票する。
- (2) 選挙資格者の選挙地区は、2015年7月10日現在の機関誌送付先とする。
- (3) 海外在住の選挙資格者は、2015年7月10日までに希望の選挙地区を中央選挙管理委員会に申告する。申告がない場合、国内連絡先の地区を選挙地区とする。

6. 選挙の施行

[① 施行要項]

- (1) 投票の開始日及び締切日は、理事会で定める。
- (2) 選挙資格者1名あたりの投票(連記)数は、各支部選挙管理委員会において決定する。
- (3) 立候補者が2の(3)(4)(5)に定める人数以下の場合の選挙においては、当該分野の立候補者について信任投票を行う。投票は信任・不信任の二択とし、無記入については信任とみなす。

[② 書面投票用の投票用紙の送付]

- (1) 中央選挙管理委員会は、書面での投票を希望する旨を事前に申請した選挙資格者に対し、投票用紙を送付する。
- (2) 有権者が投票用紙を紛失した場合、再発行は行わない。
- (3) 投票用紙により投票を行う場合、電子投票システムによる投票を行うことはできない。

[③ 電子投票画面のログインパスワードの送付]

- (1) 中央選挙管理委員会は、書面投票申請がなかった選挙資格者に対し、投票画面のログイン用パスワードを送付する。
- (2) 有権者がパスワードを紛失した場合、本人から中央選挙管理委員会に申し出ることにより再発行することができる。
- (3) 電子投票システムにより投票を行う場合、投票用紙による投票を行うことはできない。

7. 当選者及び補欠者の選出

- (1) 選挙の当選者は、得票数の多い上位者から選出する。
- (2) 選挙での当選順位が同一の場合、順位は年長者を優先とする。
- (3) 6の①の(3)の投票を行う選挙においては、信任票が投票者数の過半数である場合に当選とする。

8. 選挙結果の報告

- (1) 中央選挙管理委員会は、当選者に就任の意思を確認する。就任の意思がない場合、その当選者は除外し、次点者を繰り上げる。
- (2) 中央選挙管理委員長は会員および理事会に選挙結果を報告する。

9. 代議員の欠員補充

- (1) 65歳定年制による退任および定款による正会員の資格喪失により、代議員に欠員が生じた場合は、随時補充を行う。
- (2) 欠員補充は、退任した代議員と同じ専門分野である、選挙時の補欠当選者(次点者)を充てる。
- (3) 補欠の代議員の任期は、退任した代議員の任期の満了する時までとする。

以上

2015年度日本循環器学会留学支援助成募集要項

【趣旨】

日本循環器学会は、第73回日本循環器学会総会・学術集会(会長：松崎益徳)を記念し、海外留学する若手研究者の経済的支援を通じて、学術集会の発展、医学研究の振興を願って「留学支援基金」を設定する。

【対象】

2016年度に海外施設へ留学、将来的に日本に帰国し、循環器領域の進歩に著しい貢献が期待される研究者とする。

【助成額】

300万円を支援金として本人宛に交付する。

【応募資格】

次の事項のすべてを満たしている者

1. 申請時において日本循環器学会の5年以上の会員歴がある会員(正会員または準会員※)であり、会費を完納した満40歳未満の者(2016年4月1日時点での年齢)。
※なお、医師は準会員にはなれません。ご注意の程お願いいたします。
2. 留学期間は1年以上であること。
3. 2016年4月1日以降、2017年3月31日までに留学を開始すること。
※上記留学開始期間以前に出発する場合の応募は認めない。
※選考決定後、留学前に留学先を変更した場合、取消すこともあり得る。
4. 過去に本基金から助成を受けていないこと。
5. 留学に際して、受入側からの支援が十分でなく、国内外問わず他学会および財団から同様の目的で助成を受けていないこと。
6. 他の機関に申請している場合、その旨申請書へ記入すること。(なお、他の機関に助成を申請していても採点には考慮しないので正確に記入すること)
7. 他の機関との重複授与は認めない。

【選考方法】

公募とし、学術集会運営委員会において書類審査を行い、必要な手続きを経て応募者に通知する。助成を受ける者は1名とし、応募は1施設からは1名とする。

【応募方法】

以下の6点の書類を作成し、全書類を原本1部とコピー12部を各セットにして、日本循環器学会事務局に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

※所定用紙は学会ホームページ <http://www.j-circ.or.jp/index.htm> の「留学支援助成」からダウンロードしてください。

- ①履歴書(所定用紙)
- ②申請書(所定用紙)
- ③推薦理由書(所定用紙、国内所属機関の責任者より推薦理由の記載を要する)
- ④過去5年の英文論文業績目録

※7月23日(木)17:00時点での業績に限ります。

締切日までに公表(オンライン含む)されていない論文は、受理証明書を添付して下さい。

- ⑤先方の留学機関からの留学承諾書(Letter、主な往復文書等)のコピー
- ⑥受入先からの留学期間中の給与支給の有無及び支給額が記載されている書類

【締切】

2015年7月23日(木)17:00(期日厳守、必着)

※書類が完備していない場合申請書を受理できません。提出の際は十分にご確認ください。

【対象者の公表】

2015年11月下旬に応募者に結果を通知する。また、対象者の氏名、所属、研究テーマを当ホームページに公表する。

【成果の報告】

1. 留学期間終了後3ヵ月以内に報告書を日本循環器学会に提出する。
2. 留学期間終了後の年次学術集会時において留学成果の発表を行う。
3. 留学期間中の研修に関して論文等に公表する場合は「日本循環器学会留学支援助成」による旨を書き添えること。

編集委員長からのメッセージ

Circ J Vol. 79 No. 4 掲載

Rapid Publication and Announcement of the 2015 JCS Meeting Activities

Hiroaki Shimokawa, MD, PhD

Dear Colleagues,

The 79th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society (*JCS 2015*) will be held in Osaka on April 24–26, 2015 (Congress Chairperson, Hisao Ogawa, MD, PhD). The *Circulation Journal* rapidly publishes and announces *JCS 2015* activities as follows:

1. Late Breaking Clinical Trials / Late Breaking Cohort Studies Papers

Papers selected for presentation in the Late Breaking Clinical Trials (LBCT) / Late Breaking Cohort Studies (LBCS) sessions in *JCS 2015* will be rapidly published, after peer review, in the May and June issues of the Journal. In addition, these LBCT / LBCS papers (*JCS 2015*) will be published online along the presentation in order to attract widespread attention of the attendees, as well as readers worldwide.

2. JCS 2014 Awards

We are pleased to announce the following JCS Awards to be presented during the *JCS 2015* meeting:

1. Sato Award by the Japan Heart Foundation and the JCS (40th)

Hiroshi Akazawa, MD, PhD

(Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo)

“Molecular Mechanisms of Cardiovascular Stress Response and Pathophysiology”



2. CPIS (Cardiovascular Pharmacotherapy International Symposium) Award (23rd)

Teruhiko Imamura, MD, PhD

(Department of Therapeutic Strategy for Heart Failure, Graduate School of Medicine, University of Tokyo)

“Increased Urine Aquaporin-2 Levels Relative to Plasma Arginine Vasopressin Is a Novel Marker of Response to Tolvaptan in Patients With Decompensated Heart Failure”



3. Cardiovascular Surgery Award (10th)

Yoshiki Watanabe, MD, PhD

(Department of Cardiovascular Surgery, Osaka University Graduate School of Medicine)

“Development of a Prostacyclin-Agonist-Eluting Aortic Stent Graft Enhancing Biological Attachment to the Aortic Wall”



4. Pediatric Cardiology Award (10th)

Akiko Okamoto, MD

(Department of Pediatric Cardiology and Nephrology, Kyoto Prefectural University of Medicine)

“The Involvement of the Vasa Vasorum in the Development of Vasculitis in Animal Model of Kawasaki Disease”



5. Cardiovascular Regeneration Medical Science Award (9th)

Experimental Investigator

Ryosuke Kikuchi, PhD

(Department of Medical Technique, Nagoya University Hospital)

“An Anti-Angiogenic Isoform of VEGF-A Contributes to Impaired Vascularization in Peripheral Artery Disease”

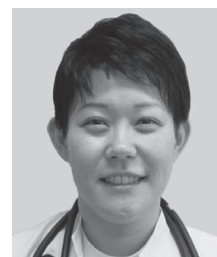


6. Woman Researcher's Award (8th)

Kanae Hasegawa, MD, PhD

(Internal Medicine, Kashiwazaki General Hospital and Medical Center)

“A Novel KCNQ1 Missense Mutation Identified in a Patient With Juvenile-Onset Atrial Fibrillation Causes Constitutively Open I_{Ks} Channels”



7. Cardiovascular Clinical Research Investigator's Award (4th)

Clinical Research Investigator

Masaharu Kataoka, MD, PhD

(Department of Cardiology, Keio University School of Medicine)

“Percutaneous Transluminal Pulmonary Angioplasty; A new Catheter-Based Interventional Therapy Developed in Japan”



Case Report

[First Place]

Hideaki Suzuki, MD, PhD

(Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University)

“Evidence for Brain Activation in Patients With Takotsubo Cardiomyopathy”



[Second Place] (in alphabetical order)

Yohei Ohno, MD

(Department of Cardiology, Tokai University School of Medicine)

“Acute Left Atrial Spontaneous Echocardiographic Contrast and Suspicious Thrombus Formation Following Mitral Regurgitation Reduction With the MitraClip System”



Noriaki Tabata, MD

(Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University)

“A Case of Human Immunodeficiency Virus-Related Heart Failure Resembling Dilated Cardiomyopathy But Accompanied by High Cardiac Output”



8. Cardiovascular Imaging Award (2nd)

[First Place]

Tetsuya Hara, MD, PhD

(Department of Medicine, Division of Cardiology, Kobe University Graduated School of Medicine)

“¹⁸F-Fluorodeoxyglucose Positron Emission Tomography/Computed Tomography Enables the Detection of Recurrent Same-Site Deep Vein Thrombosis by Illuminating Recently Formed, Neutrophil-Rich Thrombus”

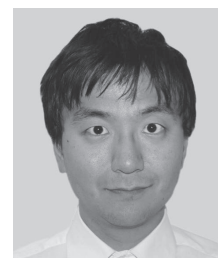


[Second Place] (in alphabetical order)

Kenya Kusunose, MD, PhD

(Cardiovascular Medicine, Tokushima University Hospital)

“Decision Making in Asymptomatic Aortic Regurgitation in the Era of Guidelines: Incremental Values of Resting and Exercise Cardiac Dysfunction”



Kentaro Shibayama, MD

(Department Cardiology, Tokyo Bay Urayasu / Ichikawa Medical Center)

“Effect of Transcatheter Aortic Valve Replacement on the Mitral Valve Apparatus and Mitral Regurgitation: Real-Time Three-Dimensional Transesophageal Echocardiography Study”



The final results of the Young Investigator Awards (YIA) Competition, those of the International YIA Competition and those of Comedical Awards will be announced in the June issue of the Journal.

Hiroaki Shimokawa, MD, PhD

Editor-in-Chief

Circulation Journal

(Released online March 10, 2015)

2015年度 Translational Research 振興事業応募要領

1. 趣 旨

日本循環器学会は循環器領域におけるわが国の臨床研究を推進するため大規模臨床試験の支援を行ってきた。最近の再生医学の進歩も含めて臨床応用・実用化の直前にある最先端の循環器基礎的研究や Translational Research を学会の研究支援事業の一環として位置付け、わが国の先進医学研究の振興に寄与することを目的とする。

本事業は2015年度をもって終了となります。

2. 対象分野

より Translational Research 振興事業らしいもので、助成終了時に実用化の目途が立つことが期待される実現可能性を重視した事業

大学／研究・医療機関の横断的・共同研究を原則とする。

3. 活動期間および採択件数

3年間の活動期間とし、1件を採択する。

4. 助 成 金

初年度2,000万円、次年度および次々年度は1,000万円として、3年間で4,000万円の助成を行う。

5. 応募資格

- ① わが国の大学／研究・医療機関の組織からの応募とし、多施設共同研究の場合、応募は研究代表者の機関からとする。
- ② 研究代表者は日本循環器学会会員(応募時点で会員であること)とする。
- ③ 班組織は原則として5名以上10名以下とし、日本循環器学会会員(※)より構成されるものとする。
※応募時点で非会員の場合は、採択時に入会することとする。
- ④ 同一研究者の複数研究課題の申請はこれをさまたげないが、選考に当っては考慮されるものとする。
- ⑤ 研究代表者は過去3年間に同助成金を受けていないこと。

6. 応募方法

研究代表者は、研究班を構成し、所定の応募書類(※)に必要事項を記入し、原本1部とコピー22部を各セットにして、日本循環器学会事務局に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

※学会ホームページ <http://www.j-circ.or.jp> ピックアップコンテンツの「Translational Research 振興事業」からダウンロードしてください。

7. 応募期間

2015年4月1日(水)～4月30日(木)17時 ※期日・時間厳守

※応募書類が完備していない場合は申請書が受理できない場合もありますので、提出の際は十分にご確認ください。

8. 選考方法および発表

日本循環器学会学術委員会において選考し、理事会で決定する。

2015年7月中旬に研究代表者に対して選考結果を通知するとともに助成金を交付する。

9. 助成対象研究組織の公表

助成組織の研究課題、氏名、所属を日本循環器学会会告、ホームページ等に公表する。

10. 研究成果の報告

- ① 研究代表者は活動年度毎に報告書および収支報告書を提出する.
- ② 活動最終年度の3月学術集会時に発表を行うとともに、最終報告書を提出する.
- ③ 最終報告書は日本循環器学会ホームページに掲載する.
- ④ 研究成果を論文として発表する際は「日本循環器学会 Translational Research 振興事業助成による」旨書き添えることとする.

11. 応募書類提出先

(一社)日本循環器学会 事務局 学術委員会2015年度 TR 振興事業応募宛
〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー 18階

循環器専門医制度

専門医制度委員会

第79回日本循環器学会学術集会の研修単位について

1. 単位加算年度について

2015年4月24～26日に開催される第79回日本循環器学会学術集会の研修単位(必修研修単位)は2014年度の研修単位としてのみ加算されます。

(2013年3月14日理事会承認)

●JCS2015 — 第79回日本循環器学会学術集会

会 期：2015年4月24日(金)～26日(日)

専門医単位：2014年度単位として加算

※2015年度単位にはなりません。

●JCS2016 — 第80回日本循環器学会学術集会

会 期：2016年3月18日(金)～20日(日)

専門医単位：2015年度単位として加算

〈2015年度専門医認定更新対象の先生へ〉

2015年度専門医認定更新のお手続きにあたり、第79回日本循環器学会学術集会で取得される単位も更新に必要な研修単位として認められます。

但し、その他のお手続きにつきましては、各受付期間中に必ずお済ませ下さい。

その他のお手続きの内容は、本誌内「専門医認定更新の手続きについて」のページでご確認ください。

2. 循環器専門医資格更新に必要な研修単位の登録

《受付日時・各単位数》

	学術集会	教育セッション	医療安全・医療倫理に関する講演会
単位数	10単位	5単位	3単位
専門医研修単位登録受付場所	コングレコンベンションセンター ホールB・C 大阪国際会議場 5階メインホール ホワイエ	堂島リバー フォーラム1階ロビー	堂島リバー フォーラム1階ロビー
第1日目 4月24日(金)	7:00～18:00	7:30～12:00	—
第2日目 4月25日(土)	7:00～18:50	7:30～10:00	—
第3日目 4月26日(日)	7:00～17:00	12:30～15:00	9:20～11:35

※研修単位の登録は学術集会会期中、指定の時間内に各研修単位登録受付において「循環器専門医カード」を提示する事により、単位を登録する方式です。

※会期中に登録を忘れた場合、会期後にプログラム・参加証等の他書類で研修単位を申告されても受付いた

しません。

※単位登録お手続きの際お渡しする「単位登録控」はご登録の証明となりますので、次回更新まで大切に保管してください。

※ご本人による登録のみが認められます。虚偽による登録が判明した場合には、専門医制度規則第10条により専門医資格の取消となりますのであらかじめご了承ください。

※65歳以上の単位取得免除制度は2008年3月31日をもって廃止されています。更新を希望される場合は年齢にかかわらず単位登録を行ってください。

学術集会

- 研修単位の登録は「専門医研修単位登録受付」（上記表内に記載）にて行ってください。
- 研修単位は、参加日数に関わらず10単位です。（受付は2ヵ所ありますが、いずれかでご登録ください）

教育セッション

- 研修単位の登録は「教育セッション専門医研修単位登録受付」（上記表内に記載）にて行ってください。
- 研修単位は、参加日数に関わらず5単位です。

医療安全・医療倫理に関する講演会

- 第79回学術集会では、必修研修対象の医療安全・医療倫理に関する講演会として「第14回医療安全・医療倫理に関する講演会(医療過誤の現状と対策)」に引き続き「医療倫理に関する講演会(研究倫理と研究指導のあり方)」が開催されます。
- 「第14回医療安全・医療倫理に関する講演会(医療過誤の現状と対策)」, 「医療倫理に関する講演会(研究倫理と研究指導のあり方)」の単位登録は、上記表内の受付時間内に登録いただくことで、3単位の医療安全・医療倫理に関する研修単位となります。
- 研修単位の登録は「医療安全・医療倫理に関する講演会専門医研修単位登録受付」（上記表内に記載）にて行ってください。

学術集会・地方会での専門医研修単位登録について

- 学術集会・地方会での更新に必要な研修単位の取得方法は「専門医カード」または「単位登録票」によるものです。
- 学術集会・地方会当日，会場の各専門医研修単位登録受付にて先生ご自身でのご登録のお手続きが必要です。
- なお，会期中に登録を忘れた場合，会期後にプログラム・参加証等の他書類で研修単位を申告されても受付致しません。

2015年度 日本循環器学会認定循環器専門医資格認定審査について

I. 審査方法

書類審査及び筆記試験(書類審査合格者のみ筆記試験の受験資格を有する)

II. 受験資格

1. 次の5項を充足していること.

- 1) 日本国の医師免許証を有し, 医師としての人格及び見識を備えていること.
- 2) 受験年度の4月1日現在, 認定内科医/総合内科専門医/外科学会認定登録医/外科専門医/小児科専門医, いずれかの資格を取得していること.
- 3) 本学会員で, 通算して6年以上の会員歴を有すること(※1).
- 4) 医師免許取得後, 専門医試験日前日をもって満6年以上の臨床研修歴を有すること(※2). 6年のうち3年以上は本学会指定の研修施設で研修していること.
2004年度(平成16年度)以降に医師免許を取得したものは, 基本領域資格取得後, 専門医試験日前日をもって満3年以上本学会指定の研修施設で研修していること(※3).
- 5) 「AHA ACLS プロバイダーコース」「AHA ACLS-EP コース」「AHA ACLS インストラクターコース」「AHA ACLS-EP インストラクターコース」のいずれかを受講し, 受験年度の4月1日現在有効な認定を受けていること. また小児科系に限り「AHA PALS プロバイダーコース」「AHA PALS インストラクターコース」も同等資格として認める.

2. 審査料および年会費を2015年6月末までに完納していること(※4).

3. 喫煙が心血管病の危険因子であることを認識し, 自ら禁煙し且つ禁煙の啓発に努めること.

4. 試験の合格後, 専門医名簿への公開に同意すること.

※1 2015年4月1日現在6年目で可. 2011年度以降の入会者は受験できません.

※2 2003年度以前に医師免許を取得した方は2年間のスーパーローテーションを含む.

※3 2012年9月以降の認定内科医資格取得者は満3年以上の研修歴が満たないため, 今回受験できません.

※4 払込用紙は4月下旬に送付の予定です.

III. 申請方法

以下の書類を事務局まで郵送してください. ①～⑤はWEBを介して作成し, 印刷して提出してください. ⑥はWEB上よりダウンロードして必要事項を記入して提出してください. ⑦～⑧はコピーを提出してください.

(①～⑧まで全ての書類を同封してお送りください)

- ① 循環器専門医資格認定審査申請書
- ② 診療実績表(A)受持入院患者一覧表
- ③ 診療実績表(B)研修記録
- ④ 診療実績表(C)手術所見, (D)外科手術記録, (E)剖検記録のいずれか
- ⑤ 研修(研修関連)施設在籍証明書
- ⑥ 循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表
- ⑦ 基本領域の資格証書のコピー
- ⑧ 「AHA ACLS プロバイダー」「AHA ACLS-EP プロバイダー」「AHA ACLS インストラクター」「AHA ACLS-EP インストラクター」, また小児科系に限り「AHA PALS プロバイダー」「AHA PALS インストラクター」いずれかのカードのコピー

Ⅳ. 日 程

日 程	内 容
1 月末～ 3 月31日	受験申請・申請書類作成期間(※ 1) <u>この期間以後の新規受験申請は受付不可</u>
4 月 1 日～ 4 月10日 消印有効	申請書類提出期間(※ 2)
5 月上旬	審査料払込用紙送付(※ 3)
5 月～ 7 月中旬	申請書類審査期間
7 月下旬	書類審査結果通知(※ 4)
8 月23日	筆記試験施行(※ 5) 東京ファッションタウンビル, 梅田スカイビル
10月下旬	合否通知

- ※ 1 受験者が WEB を介して受験申請・申請書類を作成する期間.
- ※ 2 受験者が申請書類を事務局へ送付する期間.
この期間以後に到着した書類は一切受け付け致しません.
- ※ 3 事務局から審査料払込用紙を送付します.
- ※ 4 書類審査不合格の場合は, 責任者にも判定理由を通知します.
- ※ 5 試験練習問題は学会ホームページ(一般公開)でご確認頂けます.

Ⅴ. 認定について

- 試験の合格後, 専門医認定申請の手続きをご案内致します.
- 認定料は30,000円です.

循環器専門医資格認定試験およびその申請書等において不正が判明した場合は専門医制度規則により厳格な処分が科せられます.

専門医認定更新の手続きについて

認定 4 年目 8 月下旬 「単位取得状況通知書」のお届け

認定 5 年目 10 月下旬 「循環器専門医認定更新のご案内」のお届け

認定更新に必要な条件は以下の通りです.

- 1 「更新」の意思表示をしていること
- 2 基本領域の資格を取得していること
- 3 更新に必要な単位を取得していること
(更新に必要な単位数は所定単位表をご確認ください.)
- 4 更新年度までの年会費を納入していること
- 5 認定更新料を納入していること

これらの条件を全て満たしていない場合は、資格を更新する事ができません.

2 月上旬までに更新料をお振込み頂いた先生へは 3 月中旬に証書を発送致しました.

以降は順次発送となります.

専門医認定更新研修の必修化について

専門医制度委員会、理事会、2009年3月20日の評議員会の審議を経て循環器専門医認定更新の際に所定の研修が必修となりました。変更点は下記のとおりです。

専門医認定更新に必要な研修単位(50単位)のうち、必修研修の単位配分は下記のとおりとなります。認定更新には下記の必修研修単位を含む合計50単位が必要となります。

【必修研修と単位数】

① 最新医療の知識習得に関する研修……30単位

日本循環器学会主催の学術集会・地方会(いずれも教育セッションを含んでもよい)への参加にて単位を取得してください。

② 医療安全・医療倫理に関する研修……2単位

学術集会および地方会(※1)開催時の「医療安全・医療倫理に関する講演会」への参加あるいはインターネット(※2)での視聴研修プログラムによる研修で単位を取得してください。

※1 各地方会での開催につきましてはDVDセッションとなり同じ講演を既に聴講されている場合には単位は重複して加算されません。

開催状況につきましては各地方会により異なります。事前に必ずご確認ください。

※2 インターネットでの視聴研修につきましては、下記からご覧いただけます。視聴にはID(会員番号)とパスワードが必要です。パスワードをお忘れの場合は下記ホームページから再発行可能です。

日本循環器学会ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp>)



循環器専門医制度



〔専門医専用〕医療安全 Web 研修

【必修研修単位の取得期間】

現在の認定期間	必修研修単位の取得期間
2010/4/1～2015/3/31	2010/4/1～2015/3/31 (※)
2011/4/1～2016/3/31	2011/4/1～2016/3/31
2012/4/1～2017/3/31	2012/4/1～2017/3/31
2013/4/1～2018/3/31	2013/4/1～2018/3/31
2014/4/1～2019/3/31	2014/4/1～2019/3/31

※但し、第79回日本循環器学会学術集会(2015/4/24～26)は2015年度更新の必修研修単位の対象となります。

【留学による特別措置】

※ 1) 2) については、留学期間が連続して10ヶ月以上の者を対象とする。

1) 留学期間中の海外学会参加研修単位について

留学により、日本循環器学会主催の学術集会・地方会に参加できなかった場合は、その留学期間中に開催された海外学会(WCC, AHA, ACC, APSC, ESC)への参加を、最新医療の知識習得に関する研修を行ったとして必修研修単位15単位を付与します。ただし、上記5学会の内1年間に複数参加しても、1年度につき1回分の研修単位のみしか認められません。

例) 2012年度(2012/4/1~2013/3/31)にAHAとACCに参加した場合は、どちらか一方の参加のみ「最新医療の知識習得に関する研修」15単位として認める。

申請方法は帰国後、2)に必要な留学単位申請書および在籍証明書に上記の海外学会参加証(ネームカード)コピーを同封してください。抄録集のコピーは不可。

2) 留学期間の研修単位について

留学単位は必修研修以外の区分として現状通り1ヶ月1単位を加算します。

※帰国後、単位申請書および在籍証明書のコピーを提出すること。

3) 認定更新日経過の場合について

更新日(各年度4月1日)を超えて留学中の場合は、現状通り取得単位に関わらず、所定の更新手続きを行えば更新することができます。

循環器専門医認定更新の必修研修および単位につきましてご質問などございましたら下記連絡先までお問合せください。

問い合わせ先：
一般社団法人 日本循環器学会(JCS 事務局)
専門医制度委員会 担当
E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

「循環器専門医カード」再発行のご案内

「循環器専門医研修単位登録」は、早くて便利な「循環器専門医カード」による登録をお願いします。「循環器専門医カード」は、本学会学術集会・地方会(いずれも教育セッションを含む)・医療安全・医療倫理に関する講演会の単位登録手続きにご利用いただけます。

再発行は下記スケジュールで受け付けております。学術集会・地方会に向けてご準備ください。

●再発行時期(年3回)

2月下旬発行……12月末迄に申請された方には、年次学術集会までに発行

5月上旬発行……3月末迄に申請された方には、春期の地方会までに発行

9月上旬発行……7月末迄に申請された方には、秋期の地方会までに発行

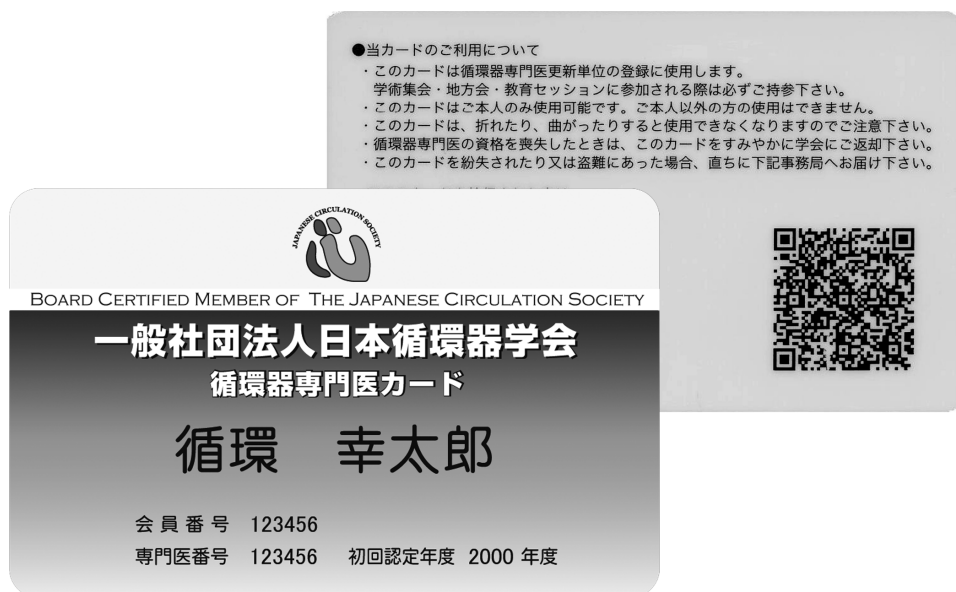
●再発行手数料

3,240円

●手順

1. 「循環器専門医カード再発行申請書」(次ページ)に記入のうえ、本会事務局までお送りください(FAX・郵便・E-mail)。
2. 学会から再発行手数料の請求書を送付します。
3. 郵便局から再発行手数料を納入してください。
4. 入金確認後、上記当該時期に郵送します。

以上



(一社)日本循環器学会専門医制度委員会
循環器専門医カード再発行申請書

(一社)日本循環器学会
代表理事 殿

標記のカードを紛失致しましたので、下記のとおり再発行を申請致します。
なお、紛失したカードが発見された時には、速やかに学会に届け出を致します。

太枠内はもれなく記入してください

年 月 日

申請者氏名：
会員番号：(6桁)
生年月日： (西暦) 19 年 月 日
事務局への連絡事項：

※事務手続きの都合上、発行(発送)時期は年3回となります。

①12月末申込締切 2月末発行 ②3月末申込締切 5月上旬発行

③7月末申込締切 9月上旬発行

※手続きには再発行料(¥3,240(税込))が必要です。申請書到着後、請求書を送付致します。

カード発行は、ご入金後となりますのでご了承くださいようお願い申し上げます。

※万一、請求書送付から1ヶ月経過してもご入金確認ができない場合は、本件申込みは失効することと致します。

※再発行料請求書及び循環器専門医カードは送本先へ送付致します。

※事務局記入欄

申請受付日	請求書送付	入金確認	送付

(一社)日本循環器学会事務局 TEL (03)5501-0863 FAX (03)5501-9855

その他専門医制度に関する手続き・問い合わせ

下記申請に関しては、学会ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>) **循環器専門医制度** をご確認の上、必要書類をダウンロードしてください。

- 証明書交付申請(和文証明・英文証明書発行、循環器専門医証再発行)
- 施設証再交付申請
- 留学期間の研修単位申請
- 専門医カード再発行申請

上記の他、専門医制度に関する情報を学会ホームページ **循環器専門医制度** に掲載しておりますので、ご確認ください。

問い合わせ先：
一般社団法人 日本循環器学会(JCS 事務局)
専門医制度委員会 担当
E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

地方会・関連学会・研究会情報

専門医研修単位認定学会情報

【お願い】

各学会情報は、申請された時点の情報を掲載していますので、開催までに情報に変更が生じることがございます。当日参加される場合は、必ず各学会・各地方会・各研究会にて情報をご確認ください。

1. 日本循環器学会地方会

(単位登録票方式／

地方会：5単位、教育セッション：3単位、医療安全：2単位※)

※医療安全については各地方会により開催が異なります。各支部へ直接お問い合わせください。

《地方会当日会場での単位登録のみ受付》

第113回北海道地方会

会 期：2015年6月27日(土)

会 場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会 長：三浦哲嗣(札幌医科大学医学部循環器・腎臓・代謝内分泌内科学)

第114回北海道地方会

会 期：2015年11月28日(土)

会 場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会 長：長谷部直幸(旭川医科大学内科学講座循環・呼吸・神経病態内科学分野)

第160回東北地方会

会 期：2015年6月6日(土)

会 場：盛岡地域交流センターマリオス(盛岡市)

会 長：伊藤 宏
(秋田大学循環器内科学・呼吸器内科学)

第236回関東甲信越地方会

会 期：2015年6月20日(土)

会 場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会 長：原田和昌(東京都健康長寿医療センター)

第237回関東甲信越地方会

会 期：2015年9月26日(土)

会 場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会 長：苅尾七臣(自治医科大学循環器内科)

第238回関東甲信越地方会

会 期：2015年12月5日(土)

会 場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会 長：高山守正(榊原記念病院循環器内科)

第145回東海地方会

会 期：2015年6月13日(土)

会 場：名古屋国際会議場(名古屋市)

会 長：大手信之(名古屋市立大学大学院医学研究科心臓・腎高血圧内科学)

第130回北陸地方会

会 期：2015年7月12日(日)

会 場：福井商工会議所(福井市)

会 長：水野清雄
(福井心臓血圧センター福井循環器病院)

第119回近畿地方会

会 期：2015年6月20日(土)

会 場：大阪国際会議場(大阪市)

会 長：北風政史(国立循環器病研究センター臨床研究部・心臓血管内科)

第120回近畿地方会

会 期：2015年11月28日(土)

会 場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター(大阪市)

会 長：石坂信和(大阪医科大学内科学Ⅲ教室(第三内科)・循環器内科)

第106回日本循環器学会中国・四国合同地方会

会 期：2015年6月19日(金)～20日(土)

会 場：松山市総合コミュニティセンター(松山市)

会 長：泉谷裕則
(愛媛大学大学院医学系研究科心臓血管・呼吸器外科学)

第107回四国地方会

会 期：2015年11月14日(土)

会 場：高知県立県民文化ホール(高知市)

会 長：北岡裕章
(高知大学医学部老年病・循環器・神経内科学)

第107回中国地方会

会 期：2015年11月28日(土)

会 場：アステールプラザ(広島市)

会 長：東 幸仁(広島大学原爆放射線医科学研究所)

第118回九州地方会

会 期：2015年6月27日(土)

会 場：アクロス福岡(福岡市)

会 長：浦田秀則(福岡大学筑紫病院循環器内科)

第119回九州地方会

会 期：2015年12月5日(土)

会 場：アクロス福岡(福岡市)

会 長：上野高史(久留米大学病院循環器病センター)

2. 循環器関連学会

(自己申告方式／3単位)

※今後、会期および会場などの変更が生じる場合があります。詳しくは直接各学会事務局へお問い合わせください。

第51回日本小児循環器学会

会 期：2015年7月16日(木)～18日(土)
会 場：ホテル日航東京(港区)
会 長：佐地 勉(東邦大学医療センター小児科)

第47回日本動脈硬化学会

会 期：2015年7月9日(木)～10日(金)
会 場：仙台国際センター(仙台市)
会 長：佐藤靖史(東北大学加齢医学研究所)

第21回日本心臓リハビリテーション学会

会 期：2015年7月18日(土)～19日(日)
会 場：福岡国際会議場(福岡市)
会 長：池田久雄
(久留米大学医学部附属医療センター循環器内科)

第51回日本循環器病予防学会

会 期：2015年6月26日(金)～27日(土)
会 場：大阪大学中之島センター(大阪市)
会 長：磯 博康
(大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学)

第30回日本不整脈学会

会 期：2015年7月28日(火)～31日(金)
会 場：グランドプリンスホテル京都(京都市)
会 長：松本万夫
(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科)

第24回日本心血管インターベンション治療学会

会 期：2015年7月30日(木)～8月1日(土)
会 場：福岡ヤフオク！ドーム,
ヒルトン福岡シーホーク(福岡市)
会 長：上野高史(久留米大学病院循環器病センター)

第63回日本心臓病学会

会 期：2015年9月18日(金)～20日(日)
会 場：パシフィコ横浜(横浜市)
会 長：山科 章(東京医科大学循環器内科)

第68回日本胸部外科学会

会 期：2015年10月17日(土)～20日(火)
会 場：神戸ポートピアホテル,
神戸国際展示場1号館(神戸市)
会 長：大北 裕
(神戸大学大学院医学研究科心臓血管外科学)

第19回日本心不全学会

会 期：2015年10月22日(木)～24日(土)
会 場：グランフロント大阪,
ナレッジキャピタル他(大阪市)
会 長：澤 芳樹(大阪大学大学院心臓血管外科)

第38回日本高血圧学会

会 期：2015年10月9日(金)～11日(日)
会 場：ひめぎんホール(松山市)
会 長：堀内正嗣(愛媛大学大学院医学系研究科)

第56回日本脈管学会

会 期：2015年10月29日(木)～31日(土)
会 場：虎ノ門ヒルズフォーラム(港区)
会 長：磯部光章(東京医科歯科大学循環器内科)

第29回日本冠疾患学会

会 期：2015年11月20日(金)～21日(土)
会 場：ロイトン札幌(札幌市)
会 長：(内科系)：土橋和文(札幌医科大学医学部病院経営・管理学)
(外科系)：樋上哲哉(札幌医科大学心臓血管外科学講座)

3. 関連学会

(自己申告方式／1単位)

※今後、会期および会場などの変更が生じる場合があります。詳しくは直接各学会事務局へお問い合わせください。

第92回日本生理学会大会

会 期：2015年3月21日(土)～23日(月)
会 場：神戸コンベンションセンター(神戸市)
会 長：岡村康司(大阪大学大学院・医・統合生理学)

第112回日本内科学会

会 期：2015年4月10日(金)～12日(日)
会 場：みやこめっせ(京都市)
会 長：三嶋理晃(京都大学)

第115回日本外科学会

会 期：2015年4月16日(木)～18日(土)
会 場：名古屋国際会議場(名古屋市)
会 長：柳野正人(名古屋大学大学院腫瘍外科学)

第74回日本医学放射線学会

会 期：2015年4月16日(木)～19日(日)
会 場：パシフィコ横浜(横浜市)
会 長：大友 邦(東京大学大学院)

第118回日本小児科学会

会 期：2015年4月17日(金)～19日(日)
会 場：大阪国際会議場, リーガロイヤルホテル大阪
(大阪市)
会 長：大藺恵一
(大阪大学大学院医学系研究科小児科学)

第54回日本生体医工学会

会 期：2015年5月7日(木)～9日(土)
会 場：名古屋国際会議場(名古屋市)
会 長：岩田 彰(名古屋工業大学・未来医療介護健康情報学研究所)

第88回日本超音波医学会

会 期：2015年5月22日(金)～24日(日)
会 場：グランドプリンスホテル新高輪(港区)
会 長：住野泰清
(東邦大学医療センター大森病院消化器内科)

第36回日本循環制御学会

会 期：2015年6月5日(金)～6日(土)
会 場：ウインクあいち(名古屋市)
会 長：木下裕之(愛知医科大学医学部麻酔科学講座)

第58回日本腎臓学会

会 期：2015年6月5日(金)～7日(日)
会 場：名古屋国際会議場(名古屋市)
会 長：松尾清一
(名古屋大学大学院医学系研究科腎臓内科)

第57回日本老年医学会

会 期：2015年6月12日(金)～14日(日)
会 場：パシフィコ横浜(横浜市)
会 長：下門顕太郎(東京医科歯科大学大学院)

第25回日本心臓核医学会

会 期：2015年6月26日(金)～27日(土)
会 場：東京コンベンションホール(中央区)
会 長：一色高明(上尾中央総合病院)

第40回日本睡眠学会

会 期：2015年7月2日(木)～3日(金)
会 場：栃木県総合文化センター、宇都宮東武ホテル
グランデ(宇都宮市)
会 長：平田幸一(獨協医科大学医学部内科学)

第55回日本核医学会

会 期：2015年11月5日(木)～7日(土)
会 場：ハイアットリージェンシー東京(新宿区)
会 長：小泉 潔
(東京医科大学八王子医療センター放射線科)

4. 医学会総会

(専門医単位／5単位)

第29回日本医学会総会

会 期：2015年4月11日(土)～13日(月)
会 場：国立京都国際会館、
グランドプリンスホテル京都、他
会 頭：井村裕夫(京都大学名誉教授)

5. 国際学会等

(自己申告方式／2単位)

ACC Annual Meeting

AHA Scientific Sessions

APCC

ESC Congress

WCC Scientific Sessions

※詳細については海外学会情報をご覧ください。

6. 「本会指定の学術集会・学術講演会(国際会議)」
および「指定研修集会制度」は2012年3月をもって終
了しました。

自己申告区分として単位申請可能な会については学
会 HP にて確認ください。

海外学会情報

ESC Congress 2015

会 期：2015年8月29日(土)～9月2日(水)
開催地：London(U.K.)
U R L : <http://www.escardio.org/congresses/esc-2015/Pages/welcome.aspx?hit=wca>

KSC Annual Scientific Meeting 2015

会 期：2015年10月16日(金)～17日(土)
開催地：KINTEX(Goyang, KOREA)
U R L : 公開未定

AHA Scientific Sessions 2015

会 期：2015年11月7日(土)～11日(水)
開催地：Orlando(U.S.A)
U R L : <http://www.heart.org/HEARTORG/>

ACC Annual Scientific Session 2016

会 期：2016年4月2日(土)～5日(月)
開催地：Chicago(U.S.A)
U R L : 公開未定

その他の学会開催情報

日本血管外科学会 チーム医療推進委員会 主催

特別シンポジウム『バスキュラー・ナース』をめざし
て

会 期：2015年6月5日(金)
会 場：パシフィコ横浜(第43回日本血管外科学会学
術総会会場)
座 長：駒井宏好(関西医科大学附属滝井病院)

重松邦広(東京大学)
演 者：間宮直子(済生会吹田病院)
大久保緑(関西医科大学附属滝井病院)
中島千春(聖路加国際病院)
青柳幸江(誠潤会水戸病院)
愛甲美穂(湘南鎌倉総合病院)
溝部昌子(千葉大学大学院看護学研究科)

※特別シンポジウム終了後(15:50過ぎから16:50を予定),『第1回バスキュラー・ナース懇親会(ナースカフェ)』を開催

問合先:〒102-0074 東京都千代田区九段南2-1-30
イタリア文化会館ビル8F (株)メディカルトリビュン内 特定非営利活動法人 日本血管外科学会 事務局
Tel. 03-3239-7264 Fax. 03-3239-7225
URL: <http://www.jsvs.org/ja/info/news/150223000525/>

The 16th CTO Club

会 期: 2015年6月19日(金)~20日(土)
会 場: ウィンクあいち(愛知県産業労働センター)
代表世話人: 大辻 悟(東宝塚さとう病院)
問合先: 〒440-0851 愛知県豊橋市前田南町1-1-5 2E

Tel. 0532-57-1276 Fax. 0532-52-2883
E-mail: cto@heartorg.gr.jp
URL: <http://www.cct.gr.jp/ctoclub/>

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団 第27回助成研究発表会

会 期: 2015年7月22日(水)
会 場: 都市センターホテル(東京都千代田区平河町)
※参加料無料. 参加希望者は財団にファックス・メール等で事前に申込
問合先: 公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団
Tel. 03-3497-5711 Fax. 03-3497-5712
E-mail: saltscience@saltscience.or.jp
URL: <http://www.saltscience.or.jp>

研 究 助 成

一般財団法人東京顕微鏡院

遠山椿吉記念健康予防医療賞

対 象: 日本を拠点に活動する個人の研究者または研究グループ

応募期間: 2015年4月1日~6月30日(消印有効)
副 賞: 100万円

問合先: 〒102-8288 東京都千代田区九段南4-8-32
一般財団法人東京顕微鏡院 公益事業室
Tel. 03-5210-6651
E-mail: mito@kenko-kenbi.or.jp
URL: <http://www.kenko-kenbi.or.jp/>

日本心臓財団・フィリップス心不全陽圧治療研究奨励賞

対 象: 循環器領域における睡眠呼吸障害に関する研究

研究奨励金額および件数:

論文賞 1件(表彰状および副賞50万円)

発表賞 2件(1件につき表彰状および副賞25万円)

応募資格:

- 1) 40歳未満の者(1975年4月1日以降に生まれた者)
- 2) 原則として日本国内の研究施設に所属する者
- 3) 研究論文: 下記の応募期間に英字誌に掲載された循環器領域における睡眠呼吸障害に関する研究の原著論文

研究発表: 2015年1月1日~2015年12月31日の期間に海外の学会で発表された循環器領域における睡眠呼吸障害に関する研究もしくは、海外の学会発表を目的とした研究

応募方法: 応募用紙(財団HPよりダウンロード)に必要事項を記載し, 論文別刷または発表内容を添付の上, 財団事務局宛にEメール添付(郵送でも可).

応募期間: 2015年4月1日~12月31日

問合先: 〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル4F
公益財団法人日本心臓財団事務局
Tel. 03-5324-0810 Fax. 03-5324-0822
E-mail: shinsei@jhf.or.jp

日本心臓血管内視鏡学会

褒賞内田賞応募要項

主 旨: 日本における循環器病の発展に寄与する埋もれた若手研究者を育成する

賞 金: 250万円

応募資格:

- 1) 日本国内で行った循環器分野の研究
- 2) 2014年4月~2015年3月に学会誌に掲載された論文
- 3) 対象研究者は論文のファーストオーサーで応募時45歳以下の研究者
- 4) 教授, 准教授は除く
- 5) 他の学会賞などを受賞していない論文
- 6) 学術集会で受賞記念講演を行える研究者

応募方法: 下記URLから申込書をダウンロードのうえ送付

応募締切: 2015年5月1日~6月30日

問合先: 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-1-30
イタリア文化会館ビル8F
日本心臓血管内視鏡学会
Tel. 03-3239-7264 Fax. 03-3239-7225
URL: <http://jacscopy.org/ja/>

公益信託循環器学研究振興基金平成27年度募集要項

趣 旨: 循環器学に関する研究に携わる埋もれた人材の発掘育成を念頭に置き, 明治以来いまだ欧米に遅れをとっている循環器学域の進歩のた

めに、この分野で研究に携わる若手医学研究者を対象とする研究助成を行うとともに優れた研究業績をあげた者に対して褒賞を贈呈することを目的とする。

1. 研究助成

研究課題：心臓血管疾患の機序・診断・治療・予防に関する基礎的・臨床的研究

- 1) 看護師のワークライフバランスに関する諸問題の解決法
- 2) 腸内細菌と心血管病
- 3) 侵襲性の低い不整脈治療の開発研究
- 4) 頸動脈硬化に関する研究
- 5) 心血管病の新しいバイオマーカー
- 6) 心臓リハビリテーションの効果の科学的解明
- 7) その他

応募資格：日本国内で研究を行う40歳以下の研究者で、国籍は不問(但し、教授は除く)

助成金額：200万円／1件、総額1,400万円以内

2. 褒賞(内田賞)

褒賞対象：日本国内で行った循環器分野の研究でかつ、2014年度(2014年4月～2015年3月)に学術誌に掲載された論文

対象研究者：論文のファーストオーサーで、応募時45歳以下の研究者(但し、教授・准教授は除く)

賞金額：500万円／1件、総額1,000万円以内

募集期間：2015年6月1日～7月31日(消印有効)

応募方法：申請書を下記URLからダウンロード(電話での請求も可)

問合先：〒105-8574 東京都港区芝3-33-1

三井住友信託銀行リテール受託業務部公益信託グループ 循環器学研究振興基金 申請口

Tel. 03-5232-8910 Fax. 03-5232-8919

URL：<http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

ACLS 講習会情報

循環器救急医療委員会

AHA ACLS プロバイダーコース受講のためには AHA BLS ヘルスケアプロバイダーコースの修了が必要です。未受講の方は、まずはこのコースを受講してください。詳しくはホームページ (<http://www.j-circ.or.jp/>) の「BLS・ACLS 講習会情報」をご参照ください。

日本循環器学会は2007年3月に、AHAと契約して国際トレーニングセンター(ITC)となり、循環器救急医療委員会(旧称：心肺蘇生法委員会)の中の教育部門としてECC(緊急心血管治療)プログラムを独自に推進させていく事になり、JCS-ITCコースとして各支部において開催致します。

私たちは日本での心臓突然死の予防と心停止の救命率の改善およびそれによる後遺症を減らすことを目標に掲げます。それには地域での「救命の連鎖」の確立が重要となります。そのためには、会員すべてが心肺蘇生法トレーニングを受け、医師・コメディカル・一般市民への指導者になること、そして特に循環器専門医は標準的な二次救命処置(Advanced Cardiovascular Life Support, ACLS)を習得し、循環器救急医療におけるチームリーダーになることが必要です。また、循環器専門医の受験資格にAHA-ACLS修了が必須となっています。このトレーニングコースは、アメリカ心臓協会(AHA)がこれまで築き上げてきたトレーニングプログラムを用いて実施されます。下記のコースに積極的に参加いただき、地域での「救命の連鎖」確立を推進していただける方を募集します。各コースの受講者募集の詳細は日本循環器学会ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>)の「ACLS 講習会情報」にてご確認ください。

【ACLS プロバイダーコース2日間を更新として受講される場合の受講料について】

AHAではスキルや知識を維持するために、2年ごとの更新をお勧めしています。

そのためACLSプロバイダーコースでは更新コースを設定していますが、開催コース数が少ない、受講者が集まらずコースが中止されることもあり、更新希望者から、「コース数を増やしてほしい」などの要望をいただいております。

そこで、通常のACLSプロバイダーコースで更新される場合には、今までは初回受講料(¥32,000)をお支払いいただいておりますが、2014/11/04より更新コース受講料と同額(¥18,000)に受講料を統一いたしました。

なお、通常のACLSプロバイダーコースで更新受講される場合は2日間のコースを受講いただくこととなります(更新コースは1日間コースとなります)。

受講料につきましては、下記のとおりです。

	初回受講	更新受講
ACLS プロバイダーコース	¥32,000	¥18,000
ACLS プロバイダー更新コース	¥18,000	

- *初回受講 今回初めてコースを受講すること
- *更新受講 プロバイダー更新を希望して受講すること

【ACLS EP プロバイダーコース開始について】

2015年1月より JCS-ITC で ACLS EP コースが開始されます。

成人の心停止に対する二次救命処置について ACLS プロバイダーコースを学習した方が、さらにレベルアップするためのコースです。ACLS プロバイダーコースの知識・スキルを習得していることを前提として、心血管系エマージェンシー、心拍再開後ケア、臨床薬理および中毒学、呼吸および代謝のエマージェンシーにどう対応するかをディスカッション形式で学習していきます。

受講には ACLS プロバイダー資格が必要となります。本コースを受講していただくことで、同時に ACLS プロバイダー資格を更新することができます。

詳しくは、「BLS・ACLS 講習会情報」のコース案内「ACLS-EP コース」をご覧ください。

<http://itc.j-circ.or.jp/acls-ep.html>

●ACLS プロバイダーコース案内

受講料（初回受講） 32,000円

受講料（更新受講） 18,000円 ※受講要件は ACLS 更新コースと同様です。

受講対象者：原則として医療従事者(医師・看護師・救急救命士など日本国内での医療国家試験有資格者)。なお、臨床経験を有している方が望ましい内容が多く含まれていますので、医療従事者をめざしている学生(医学生、看護学生、薬学部学生など)の受講は原則として認めておりません。

受講申込方法：当会ホームページ「BLS・ACLS 講習会情報」のページからご希望のコースをお選びいただき、オンラインフォームにてお申し込みください。以下のコーススケジュールの募集締め切りは延長される場合がございますので、ホームページにてご確認ください。

JCS-ITC2015/05/02-03関東甲信越支部国立病院機構東京医療センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年5月2日(土)～5月3日(日)の2日間

会場：国立病院機構東京医療センター

受講募集人数：15名

コースディレクター：布施 淳(国立病院機構東京医療センター循環器科)

4月8日(水)まで募集(延長の場合もあり)

問い合わせ：

日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也

Phone: 019-652-5406

Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@morioh.co.jp

JCS-ITC2015/05/16-17関東甲信越支部本郷マッシュアップスタジオ AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年5月16日(土)～17日(日)の2日間

会場：本郷マッシュアップスタジオ

受講募集人数：18名

コースディレクター：中山英人(埼玉医科大学病院麻酔科)

5月6日(水)まで募集

問い合わせ：

日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也

Phone: 019-652-5406

Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@morioh.co.jp

JCS-ITC2015/05/16-17関東甲信越支部相澤病院ヤマサホール AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年5月16日(土)～17日(日)の2日間
会 場：相澤病院ヤマサホール
受講募集人数：18名
コースディレクター：宮澤 泉(長野赤十字病院循環器内科)
4月23日(木)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@morioh.co.jp

JCS-ITC2015/05/23-24関東甲信越支部新潟医療センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年5月23日(土)～24日(日)の2日間
会 場：新潟医療センター
受講募集人数：18名
コースディレクター：船崎俊一(済生会川口総合病院)
4月14日(火)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@morioh.co.jp

JCS-ITC2015/05/30-31近畿支部和歌山県立医科大学 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年5月30日(土)～31日(日)の2日間
会 場：和歌山県立医科大学
受講募集人数：12名
コースディレクター：加藤正哉(和歌山県立医科大学)
5月6日(水)まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会近畿支部事務局 山口良彦
Phone: 075-212-2015
Fax: 075-212-0691
E-mail: kyoto@congre.co.jp

JCS-ITC2015/06/13-14関東甲信越支部獨協医科大学創立30周年記念館 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年6月13日(土)～14日(日)の2日間
会 場：獨協医科大学創立30周年記念館
受講募集人数：12名
コースディレクター：菊池 研(獨協医科大学心臓・血管内科)
5月18日(月)まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@morioh.co.jp

JCS-ITC2015/06/13-14九州支部宮崎市郡医師会病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年6月13日(土)～14日(日)の2日間
 会場：宮崎市郡医師会病院
 受講募集人数：12名
 コースディレクター：平井信孝(熊本地域医療センター循環器内科)
 5月10日(日)まで募集
 問い合わせ：
 熊本地域医療センター循環器内科 平井信孝
 Phone: 096-363-3311
 Fax: 096-362-0222
 E-mail: nobutaka@krmc.or.jp

JCS-ITC2015/06/20-21関東甲信越支部本郷マッシュアップスタジオ AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年6月20日(土)～21日(日)の2日間
 会場：本郷マッシュアップスタジオ
 受講募集人数：18名
 コースディレクター：中山英人(埼玉医科大学病院麻酔科)
 6月10日(水)まで募集
 問い合わせ：
 日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也
 Phone: 019-652-5406
 Fax: 019-604-8244
 E-mail: aclsjcskanto@morioh.co.jp

JCS-ITC2015/06/20-21関東甲信越支部長野赤十字病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年6月20日(土)～21日(日)の2日間
 会場：長野赤十字病院基幹災害医療センター
 受講募集人数：18名
 コースディレクター：宮澤 泉(長野赤十字病院循環器科)
 5月28日(木)まで募集
 問い合わせ：
 日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也
 Phone: 019-652-5406
 Fax: 019-604-8244

●ACLS プロバイダー更新コース案内

受講料：18,000円

受講要件：

1. 有効期限内の BLS ヘルスケアプロバイダーカードを有すること
2. 有効期限内の ACLS プロバイダーカードを有すること

追補1) 有効期限を過ぎている ACLS プロバイダーカードを有している場合でも、更新コースの受講は可能です。ただし、実技試験、筆記試験ともに補習や再試験の機会はありませんので、万一、両試験に1回で合格しない場合には、ACLS 更新コースの再受講は不可となり、改めて2日間の通常の ACLS コースを受講いただくことになります(受講料も新たに必要となります)。

追補2) AHA ACLS コースをこれまで一度も受講したことがない場合には、ACLS 更新コースの受講は原則として認められておりません。

JCS-ITC2015/05/10東海・北陸支部三重大学 AHA ACLS プロバイダー更新コース

開催日：2015年5月10日(日)
会 場：三重大学
受講募集人数：12名
コースディレクター：宮部浩道(藤田保健衛生大学)
4月13日(月)まで募集(募集延長もあり)
問い合わせ：
日本循環器学会東海支部事務局 渡辺裕一
Phone: 052-950-3365
Fax: 052-950-3370
E-mail: jcs-tokai@congre.co.jp

JCS-ITC2015/06/21近畿支部和歌山県立医科大学 AHA ACLS プロバイダー更新コース

開催日：2015年6月21日(月)
会 場：和歌山県立医科大学
受講募集人数：6名
コースディレクター：加藤正哉(和歌山県立医科大学)
5月24日(日)まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

●ACLS EP プロバイダー資格コース案内

コースの特徴：成人の心停止に対する二次救命処置をACLSプロバイダーコースを学習した方が、さらにレベルアップするためのコースです。ACLSプロバイダーコースの知識・スキルを習得していることを前提として、心血管系エマージェンシー、心拍再開後ケア、臨床薬理および中毒学、呼吸および代謝のエマージェンシーにどう対応するかをディスカッション形式で学習していきます。

本コースを受講していただくことで、同時にACLSプロバイダー資格を更新することができます。

受講料：18,000円

受講要件：

1. 有効期限内のBLSヘルスケアプロバイダーカードまたはインストラクターカードを有すること
2. 有効期限内のACLSプロバイダーカードまたはインストラクターカードを有すること

追補1) 上記カード提示ができない場合は、受講当日であってもコースの受講をお断りすることがございますのでご注意ください。またカードを紛失している場合などは事前に各コースの責任者(コースディレクター)にご連絡ください。なお、受講希望者多数の場合には施設の重複を避けるなど、地域性も考慮して選考させていただきます。

対象者：原則として医療従事者：医師、救急集中治療の経験のある看護師など

追補1) ACLSプロバイダーとして実際の臨床経験を積んだ方で、心電図や病態の把握ができることが必要になります。

JCS-ITC2015/05/09関東甲信越支部帝京大学板橋キャンパス AHA ACLS EP プロバイダーコース

開催日：2015年5月9日(土)

会 場：帝京大学板橋キャンパス

受講募集人数：15名

コースディレクター：金子一郎(帝京大学医学部救急医学講座)

4月15日(水)まで募集(募集延長もあり)

問い合わせ：

日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也

Phone: 019-652-5406

Fax: 019-604-8244

映像教材販売のご案内

喫煙防止映像教材販売のご案内

禁煙推進委員会

ご承知のように、喫煙は喫煙者のみならず受動喫煙者にとっても、虚血性心疾患をはじめとする循環器疾患、呼吸器疾患、がん、その他の疾患の発症・進展にとって重要な危険因子です。禁煙推進委員会では、医療現場からのメッセージを込めた『今から始める喫煙防止教育 2 版』という喫煙防止映像教材(DVD)を制作し、その販売をしておりますのでご案内申し上げます。

会員・非会員を問わずご購入いただけます。日本循環器学会禁煙推進委員会の意図と願いをご理解いただき、是非ご活用いただければ幸いです。

なおご購入のお申し込み・お問い合わせは、下記の特約代理店までお願い致します。

〈内容〉

- Part 1：たばこ、やめてね
(小学校 1, 2 年生用 / 6 分)
- Part 2：タバコのけむりはあぶないよ!!
(小学校 3, 4 年生用 / 10 分)
- Part 3：タバコって本当はどんなもの?
(小学校 5, 6 年生用 / 12 分)
- Part 4：考えてみよう タバコと健康
(中学生・高校生用 / 14 分)
- Part 5：タバコか健康か あなたはどちらを選びますか
(一般・大学生用 / 17 分)

〈価格〉

2,052 円

(税込, 送料別)

〈購入お申し込み・お問い合わせ〉

(特約代理店)

(株)少年写真新聞社 メディア開発部

TEL : 03-3261-4001

FAX : 03-5276-7785

URL : <http://www.schoolpress.co.jp/home.html>



一般社団法人 日本循環器学会 禁煙推進委員会からのお知らせ

禁煙啓発キャラクター すわん君のtwitterが、
2014年4月22日(禁煙の日)スタート！！
詳しくはtwitter ID【suwankun_kin_en】で検索

携帯 スマホの方は、
QRコードからCheck♡



…みんな
フォローしてほしい
でしゅわん♡



禁煙啓発キャラクター「すわん君」
(C)一般社団法人 日本循環器学会



LINEのスタンプが
出来ましたでしゅ♡
皆しゅわん♪♪
要チェックでしゅ！！

すわん君着ぐるみ貸出中！！
詳細は、下記メールアドレスまで
お問い合わせ下さい♪♪
アドレス:【nonsmoking@j-circ.or.jp】

日循 禁煙推進委員会HP: <http://www.j-circ.or.jp/kinen/>

教育研修映像販売のご案内

教育研修委員会

下記の教材 1 タイトルご購入につき、専門医研修単位が 3 単位加算されます。本体についている返信はがきに必要事項をご記入の上、切手を貼ってご郵送ください。ただし、単位の付加は、ご購入ご本人のみに限ります。単位受付は同じタイトルにつき 1 回限りの受付となりますのでご了承ください。

※なお、単位申請ハガキの受付には期限があります。詳細は下記の各 DVD 単位申請期間をご確認ください。

ご購入の申し込みは、日循ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>)の「刊行物購入のご案内」からオンラインでお受けしています。もしくはファックス(03-6368-9509)で、ご希望のタイトル、氏名、会員番号、お届け先住所、電話番号をお書き添えの上、お申込みください。

■循環器教育セッション

※DVD-ROM は家庭用 DVD レコーダーでは再生できませんのでご注意ください

※座長所属はセッション開催時のもの。

第42回循環器教育セッション DVD-ROM ￥5,200(税込) 2014年 3月21日(金)～23日(日)

単位申請期日：2016年 3月31日

セッション I

1. 心房細動アブレーションの進歩

座長：沖重 薫（横浜市立みなと赤十字病院心臓病センター）
奥村 謙（弘前大学循環呼吸腎臓内科学講座）

2. 大動脈ステントグラフト

座長：吉川 公彦（奈良県立医科大学放射線科）
荻野 均（東京医科大学心臓血管外科）

3. ASD

座長：赤城 禎治（岡山大学病院循環器疾患集中治療部）
河村 朗夫（慶應義塾大学循環器内科）

セッション II Structural Heart Disease に対するカテーテル治療の進歩

座長：高山 守正（榊原記念病院循環器内科）
新浪 博（埼玉医科大学国際医療センター心臓血管外科）

セッション III. 日常診療における他科との連携

円滑な循環器内科コンサルテーションを考える

座長：山科 章（東京医科大学第二内科）
前村 浩二（長崎大学循環病態制御内科学）



大阪国際会議場他2会場での講演記録

会期：2015年4月24～26日

購入し研修されると専門医研修単位が **3単位** 取得できます。

※単位の付加は、ご購入ご本人様のみに限ります、単位受付は同じタイトルにつき一回限りとなりますのでご了承ください。

DVD 購入者は

WEBでも

ご視聴いただけます!

これ一枚で**49セッション 295延べ座長・演者、
63時間50分収録!**価格 **5,200円** (送料、税込)発行予定
7月20日

<収録内容>

美甘レクチャー

1セッション

Testing the Inflammation Hypothesis of Atherothrombosis

真下記念講演

1セッション

Challenge to Novel Cardiovascular Peptides

会長講演

1セッション

My Clinical Research in Cardiovascular Medicine

特別講演 1～10 全て

10セッション

SL01. New Concepts in Endothelial Function

SL02. Targeting Atherosclerosis beyond High-Intensity Statin Therapy

SL03. New Insights into the Mechanisms of Myocardial Ischemic Injury, Healing, and Remodeling

SL04. Targeting Endothelial Metabolism: Principles and Strategies

SL05. Novel Oral Anticoagulants in the Management of the Patient with Acute Coronary Syndrome

SL06. The Natriuretic Peptides and Cardiometabolic Health: From Basic to Bedside

SL07. Arrhythmogenic Right Ventricular Dysplasia: What Have We Learned?

SL08. The State and Future of Research Using Clinical Registries

SL09. NLRP3 Inflammasome in Atherosclerosis

SL10. Molecular Links between Metabolic and Cardiovascular Diseases

プレナリーセッション 1～9 全て

9セッション

PL01. New Multi-Modality Cardiovascular Imaging and the Dedicated Management of Diseases

PL02. 世界の潮流を見据えた日本型臨床研究のあり方を探る

PL03. 大動脈ステントグラフト治療と直達手術：遠隔成績を中心に

PL04. 心臓突然死への挑戦

PL05. Current Strategies of Diagnosis and Treatment in Aortic Valve Disease

PL06. Frontiers of Novel Procedure and Device-based Strategies on the Management of Hypertension and Cardiovascular Disease: from Basic to Clinical Research

PL07. 全身血管病管理から見た末梢動脈疾患へのアプローチ

PL08. わが国の循環器領域における TR/臨床試験の最前線

PL09. Future Perspective in Atherosclerosis Research: Seeking for Novel Therapeutic Targets against Cardiovascular Diseases

シンポジウム

8セッション

SY01. Inflammation and Atrial Fibrillation

SY03. Novel and Advanced Therapy against Acute Coronary Syndrome
—From Bench to Bedside—

SY04. 循環器病研究における医療開発政策

SY05. Heart Failure as a Systemic Disease

SY07. Pathophysiological Analysis of the Hereditary Heart Disease Using iPS Cells

SY10. The Importance of the Right Ventricle in Adult Congenital Heart Disease
—Physiological Properties, Diagnosis, and Management of Right Heart Failure in ACHD—

SY17. Cardiovascular Research Using Next Generation Sequencer

SY18. Pregnancy and Delivery in Cardiac Disease

会長特別企画 1～12 全て

12セッション

SS01. 日本における心臓移植の歴史と今後の課題

SS02. 日本循環器学会創立80周年記念企画 日本第一循環器治療の歴史

SS03. Recent Progress in Catheter Mapping and Ablation

SS04. 糖尿病合併の冠動脈疾患に対する治療戦略

SS05. 大規模レジストリーの将来展望

SS06. Epigenetics and Cardiovascular Disease

SS07. Cardiogenesis and Cardiovascular Diseases

SS08. 循環器疾患におけるデータマネージングの重要性

SS09. Rapid Development of Antithrombotic Therapy: Current Status and Future Directions

SS10. Therapeutic Strategies of Coronary Artery Disease from the Point of View of Vasomotion and Microvascular Function

SS11. 日本人の血栓性素因

SS12. 循環器疾患における先制医療：新しい画像診断とバイオマーカーの応用

ジョイントシンポジウム 1～5 全て

5セッション

1. KSC-JCS Joint Symposium
Current Topics and Future Collaboration of Cardiovascular Surgery between Korea and Japan2. CSC-JCS Joint Symposium
Heart Failure-From Basic to Clinical3. ACC-JCS Joint Symposium
Current Topics of Non-vitamin K Antagonist Oral Anticoagulants4. ESC-JCS Joint Symposium
Coronary Vasomotion Abnormalities5. AHA-JCS Joint Symposium
Diabetes and Heart Failure ~ The Joint Risk ~

Meet the ESC

2セッション

1. Meet the ESC in Japan Session 1
Diagnosis and Treatment of Heart Failure with Preserved Ejection Fraction in Europe and Japan2. Meet the ESC in Japan Session 2
Recent Advances in the Management of Pulmonary Hypertension Based ESC and JCS Guidelines

お申込みはインターネットまたはFAXでもお申込み頂けます。

日本循環器学会ホームページから、又は、https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd にアクセスしてください。

DVDに収録されている座長・演者名(ご所属)及び演題名もご覧いただけます。

■お問い合わせ先

株式会社 メディカルビスタ

TEL 0120-046-844

FAX : 03-6368-9509

Mail : jcsdvd@medicalvista.jp

第79回日本循環器学会学術集会 DVD-ROMのお申込

価格 1部 ¥5,200 (送料、税込)

お申込方法

① インターネットの場合

日本循環器学会ホームページ (<http://www.j-circ.or.jp>) 「刊行物購入のご案内」 から、

又は、次のURLにアクセスしお申込ください。

https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd

② FAXの場合

下記お申込書にご記入頂き、**03-6368-9509** まで FAX にてお申込ください。

お支払方法

<お申込者個人名の場合>

■銀行振込、■郵便振替、又は■クレジットカード払いの何れかでお支払いください。

お申込受付後、ご指定いただいたお支払い方法についてのご案内をお送り致します。

ご送付先は、E-Mail アドレスのご記入がある場合 E-mail アドレス宛に、E-mail アドレスのご記入がない場合、FAX 番号宛にお送りいたします。上記の何れかの方法でお支払いください。

DVDの発送はお支払い確認後、随時対応します。

<団体又は法人名の場合>

請求書、納品書、領収書等の発行を必要とされる場合、その他通信欄にご記入下さい。

DVD納品後のお支払いにつきましてもお申し出いただければ可能でございます。

第79回学術集会DVD-ROMのお申込書

(FAX 番号、又は E-mail アドレスのどちらか必ずご記入ください。)

2015 年 月 日

フリガナ お名前	申込部数	会員番号
ご所属	お支払方法 ☐ 銀行振込 ☐ 郵便振替 ☐ クレジットカード払い	
ご住所(ご送付先) 〒		☐ ご所属先 ☐ ご自宅
ご連絡先	TEL :	FAX :
E-mail アドレス	@	
その他通信欄		

JCS79

<ご提供いただきます個人情報は、個人情報保護法に準拠して取扱います>

企画著作 一般社団法人日本循環器学会

制作販売受託

株式会社メディカルビスタ 日循 DVD-ROM 事務局

☎ 0120-046-844 (9:30-18:30) FAX: 03-6368-9509

E-mail: jcsdvd@medicalvista.jp



JCS2015

第43回

循環器教育セッション

会場：堂島リバーフォーラム(大阪) 日時：2015年4月24～26日

発行予定
7月20日

DVD-ROM発売!!

DVD購入者はWEBでも視聴いただけます。

価格 5,200円 (送料、税込)

購入し研修されると専門医研修単位が **3単位** 取得できます。

※単位の付加は、ご購入ご本人様のみに限ります。単位受付は同じタイトルにつき一回限りとなりますのでご了承ください。

お申込みはインターネットまたはFAXでもお申込み頂けます。

日本循環器学会ホームページから、又は、https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd にアクセスしてください。

<収録内容>

教育セッション I

ビデオセッション I-1
レーザーリード拔去

学会1日目 4月24日(金) 8:30～9:20

座長:

庄田 守男(東京女子医科大学 循環器内科学)

演者:

岡村 英夫(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

教育セッション I

ビデオセッション I-2
末梢血管へのインターベンション治療

学会1日目 4月24日(金) 9:20～10:55

座長:

安田 聡(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

演者:

河原田 修身(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
田山 信至(熊本総合病院 循環器内科)

教育セッション I

ビデオセッション I-3
経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVR)

学会1日目 4月24日(金) 10:55～12:30

座長:

小林 順二郎(国立循環器病研究センター 心臓血管外科)

演者:

桃原 哲也(榊原記念病院 循環器内科)
倉谷 徹(大阪大学 低侵襲循環器医療学)

教育セッション II

重症安定狭心症への最善の冠血行再建を考える

学会2日目 4月25日(土) 8:30～10:30

座長:

中川 義久(天理よろづ相談所病院 循環器内科)
浅井 徹(滋賀医科大学 心臓血管外科)

演者:

宮内 克己(順天堂大学 循環器内科学)
田中 信大(東京医科大学 循環器内科)
中村 淳(新東京病院 心臓内科)
福井 寿啓(榊原記念病院 心臓血管外科)
大野 貴之(三井記念病院 心臓血管外科)

コメンテーター:

Alaide Chieffo (San Raffaele Hospital, Italy)

教育セッション III

急性心不全・心不全増悪にどう対応するか
—その標準治療は?—

学会3日目 4月26日(日) 13:30～15:30

座長:

志賀 剛(東京女子医科大学 循環器内科学)
佐藤 幸人(兵庫県立尼崎病院 循環器内科)

演者:

佐藤 直樹(日本医科大学武蔵小杉病院 循環器内科
・集中治療室)
原田 和昌(東京都健康長寿医療センター 循環器内科)
佐藤 幸人(兵庫県立尼崎病院 循環器内科)
安達 仁(群馬県立心臓血管センター 循環器内科)
宮澤 靖(近森病院 栄養サポートセンター)
弓野 大(ゆみのハートクリニック)

●動作環境

※本DVD-ROMはDVD-Videoプレイヤーでは再生できません。

Windows

2.33GHz以上のx86 互換プロセッサ

512MB RAM (1GB以上推奨)

プラットフォーム:

Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8.x

ブラウザ:

Internet Explorer 8.0以降、Mozilla Firefox 31以降、
Google Chrome、Opera

Macintosh

Intel Core Duo 1.83GHz以上のプロセッサ

512MB RAM (1GB以上推奨)

プラットフォーム: Mac OS X v10.6以降

ブラウザ:

Safari 5.0以降、Mozilla Firefox 31、Google Chrome、Opera

■お問い合わせ先

株式会社 メディカルビスタ

☎ 0120-046-844

FAX: 03-6368-9509

Mail: jcsdvd@medicalvista.jp

第43回 循環器教育セッションDVD-ROMのお申込

価格 1部 ¥5,200 (送料、税込)

お申込方法

① インターネットの場合

日本循環器学会ホームページ (<http://www.j-circ.or.jp>) 「刊行物購入のご案内」から、

又は、次のURLにアクセスしお申込ください。

https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd

② FAXの場合

下記お申込書にご記入頂き、**03-6368-9509** まで FAX にてお申込ください。

お支払方法

<お申込者個人名の場合>

■銀行振込、■郵便振替、又は■クレジットカード払いの何れかでお支払いください。

お申込受付後、ご指定いただいたお支払い方法についてのご案内をお送り致します。

ご送付先は、E-Mail アドレスのご記入がある場合 E-mail アドレス宛に、E-mail アドレスのご記入がない場合、FAX 番号宛にお送りいたします。上記の何れかの方法でお支払いください。

DVDの発送はお支払い確認後、随時対応します。

<団体又は法人名の場合>

請求書、納品書、領収書等の発行を必要とされる場合、その他通信欄にご記入下さい。

DVD納品後のお支払いにつきましてもお申し出いただければ可能でございます。

第43回 循環器教育セッションDVD-ROMのお申込書

(FAX 番号、又は E-mail アドレスのどちらか必ずご記入ください。)

2015年 月 日

フリガナ お名前	申込部数	会員番号
ご所属	お支払方法 ☐ 銀行振込 ☐ 郵便振替 ☐ クレジットカード払い	
ご住所(ご送付先) 〒		☐ ご所属先 ☐ ご自宅
ご連絡先	TEL :	FAX :
E-mail アドレス	@	
その他通信欄		

JCS_ES43

<ご提供いただきます個人情報は、個人情報保護法に準拠して取扱います>

企画著作 一般社団法人日本循環器学会

制作販売受託

株式会社メディカルビスタ 日循 DVD-ROM 事務局

☎ 0120-046-844 (9:30-18:30) FAX: 03-6368-9509

E-mail: jcsdvd@medicalvista.jp

和文論文投稿誌 **心臓** のご案内

論文投稿および購読のお願い

☆投稿掲載論文筆頭著者は循環器専門医認定更新に必要な研修単位を3単位取得できます。

2012年4月(第44巻 第4号)より、「心臓」は
日本心臓財団と日本循環器学会の共同発行となりました。
循環器領域の若手研究者を育てる和文投稿を中心に、
最新のトピックスや研究会など、充実した内容をお届けしています。
和文論文をぜひ投稿してください。また、本誌をご購読ください。
なお、日本心臓財団では本誌をご支援いただく教室(医局)・病院(医院)賛助会員も
募集しております。詳細は日本心臓財団事務局にお問合せください。

「心臓」

発行：公益財団法人日本心臓財団、一般社団法人日本循環器学会

制作：株式会社日本医学出版 心臓編集室

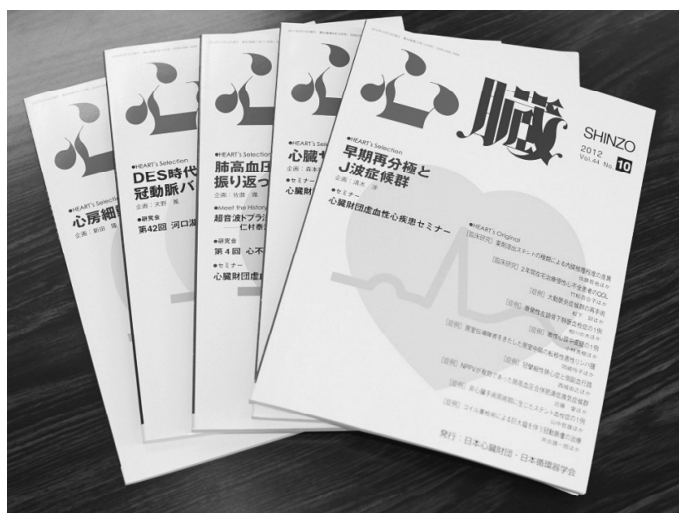
発売：株式会社西村書店

定価：2,160円(本体2,000円+税)

年間予約購読料(12冊分) 25,920円(本体24,000円、送料は負担いたします)

編集委員会

山口 徹(編集委員長)、代田浩之(副編集委員長)、磯部光章、小野 稔、加藤貴雄、
木村一雄、倉林正彦、佐地 勉、竹石恭知、新田 隆、百村伸一、山科 章



投稿に関するお問い合わせ

(株)日本医学出版「心臓」編集室

電話：03-5800-2350

FAX：03-5800-2351

購読の申し込み・お問い合わせ

(株)西村書店 担当：岩永

電話：03-3293-9311

FAX：03-3293-9314

事務局からのお知らせ

〈住所／勤務先変更の届出について〉

毎月の「CJ」や各地方会の開催案内、プログラム等を確実にお手許にお届けできるよう、適時、住所／勤務先変更の届出をお願いしております。

ホームページ (<http://www.j-circ.or.jp/>) より、会員限定ページにて変更登録をお願い致します。 または、当会告末尾の「登録事項変更届」をご利用ください。

なお、学会活動や医療情報などに関する重要なお知らせをEメールで発信する機会が増えておりますので、可能な限りEメールアドレスをお届け下さいますようお願い致します。

〈会員限定 HP へのアクセス等について〉

- UMIN(大学病院医療情報ネットワーク)のID を利用しての会員のみのアクセス制限をしております。
- 新規ご入会の先生につきましては、当学会にてUMINID の取得申請を代行しております。ご入会手続き後にUMINID が取得次第、順次ID と仮パスワードを郵送致します。
- UMIN メールアドレスにつきましては、各先生方のID@umin.ac.jpにてご利用いただけます。電子メールソフトの設定の詳細はUMIN ホームページ (<http://www.umin.ac.jp/>) をご確認ください。

● 学会に関する問い合わせは下記事務局までご連絡下さい。

(一社)日本循環器学会

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

※京都事務局は2013年7月15日(月)をもって東京事務局に統合されました。

各業務担当メールアドレス・電話番号のご案内		
	メールアドレス	電話番号
代 表	admin@j-circ.or.jp	03-5501-0861
総務(登録事項変更・入会・退会等)	soumu@j-circ.or.jp	
編集(Circulation Journal 関連)	cj@j-circ.or.jp	
情報広報(購読・HP・地方会)	webmaster@j-circ.or.jp	
BLS/ACLS 関連事業	itc@j-circ.or.jp	
国内交流	kokunai@j-circ.or.jp	03-5501-0862
学術集会	meeting@j-circ.or.jp	
国際交流	international@j-circ.or.jp	
ガイドライン関連	jcsGL@j-circ.or.jp	
IT/DATABASE	ITDatabase@j-circ.or.jp	
男女共同関連	jcs-danjyo@j-circ.or.jp	03-5501-0863
経理(各請求書・年会費等)	keiri@j-circ.or.jp	
専 門 医	senmoni@j-circ.or.jp	
禁 煙	nonsmoking@j-circ.or.jp	

FAX(業務共通)

03-5501-9855

ホームページ URL

<http://www.j-circ.or.jp/>

一般社団法人 日本循環器学会

登録事項変更届

[ホームページからもお届けが可能です]

TEL (03) 5501-0861

FAX (03) 5501-9855

E-mail: soumu@j-circ.or.jp

ホームページ : <http://www.j-circ.or.jp/>

会員番号 :	【6桁】	生年月日 : 19 年 月 日 (歳)
フリガナ :		
会員氏名 :		
(旧姓名 :)		
勤務先 :		
名 称		
部・科 役 職		
所在地 〒 -		
代 表 TEL () - FAX () -		
内線		
直 通 TEL () - FAX () -		
旧勤務先名称 :		
自 宅 : 〒 -		
TEL () - FAX () -		
旧自宅住所 :		
E-mail :		
変更希望日 : 年 月 日 変更	送本先(連絡先) : ☐ 勤務先 ☐ 自宅	
英文誌 Circulation Journal の送付を : ☐ 希望する ☐ 希望しない		
退 会 届【退会希望者のみ記入】		
年 月 日をもって退会します。 / 退会事由 :		
事務局への通信欄 :		

* ご提供いただきました個人情報は、学会サービスの提供その他本会の事業目的に沿って行う活動およびこれに付随する業務を行う目的の範囲内においてのみ利用させていただきます。

* 重要なお知らせを E-mail でお届けする機会が増えております。ぜひメールアドレスをご登録ください。

学会誌 Circulation Journal の送本について

Circulation Journal は、希望者のみへの送本を実施しております。送本ご不要のお手続きは、以下にて受付けています。

- Fax: 03-5501-9855
- E-mail: soumu@j-circ.or.jp
- 日本循環器学会 HP(会員事務手続)

*対象は CJ 英文誌のみで、会告、ガイドライン誌、循環器専門医誌は、今まで通り全員に送本されます。

*CJ 送本不要を申し出られた方のみ、送本を停止します。

*CJ 送本不要でも、年会費に変更はありません。

※なお、CJ では、全掲載論文を Online Journal(J-STAGE)にて無料公開しております。

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/circj>

以上

英文誌 Circulation Journal の送本は、不要です。

氏 名：_____

会員番号：_____
(封筒の宛名ラベル右下に記載の 6 桁の数字)

年 月 日

(注) 氏名・会員番号は必ずご記入下さい。

第79回一般社団法人日本循環器学会社員総会のご案内

第79回一般社団法人日本循環器学会 社員総会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

記

日時：2015年6月26日(金)15:00～16:00

会場：JPタワー ホール&カンファレンス(ホール2+3)
〒100-7004 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
JPタワー 4F
TEL：03-5222-1800(代表)

議長：小川 久雄（一般社団法人日本循環器学会代表理事）

(注) 社員(代議員)には、6月初旬に社員総会開催の
ご案内(メール・希望者は郵送)を別途お送り致します。

以上

第80回日本循環器学会学術集会 (JCS2016)

開催概要

会 期：2016年 3月18日(金)～20日(日)

会 長：下川 宏明 (東北大学大学院医学系研究科循環器内科学)

会 場：仙台国際センター会議棟, 東北大学百周年記念会館川内萩ホール
仙台国際センター展示棟, 仙台市民会館

メインテーマ：日循80年 日本の循環器病学の過去・現在・未来

—東日本大震災復興5周年—

The Past, Present and Future of Cardiovascular Medicine in Japan

—The 5th Anniversary of the Great East Japan Earthquake—

1. 美甘レクチャー(日本心臓財団美甘基金)

Paul M. Vanhoutte (University of Hong Kong, China)

2. 真下記念講演

山本 雅之 (東北大学 医化学分野)

3. 会長講演

下川 宏明 (東北大学 循環器内科学)

4. 特別講演

Thomas F. Lüscher (University Hospital Zurich, Switzerland)

Paolo G Camici (Vita Salute University and Scientific Institute San Raffaele, Italy)

Filippo Crea (Catholic University of the Sacred Heart, Italy)

C. Noel Bairey Merz (Cedars-Sinai Heart Institute, USA)

Udo Sechtem (Robert Bosch Krankenhaus, Germany)

John Beltrame (University of Adelaide, Australia)

Peter Ganz (University of California, San Francisco, USA)

Amir Lerman (Mayo Clinic, USA)

Barry Greenberg (University of California, San Diego, USA)

Juan Carlos Kaski (St. George's University of London, UK)

Sang Hong Baek (The Catholic University of Korea, Seoul St. Mary's Hospital, Korea)

Richard Cohen (Boston University School of Medicine, USA)

Zvonimir S. Katusic (Mayo Clinic, USA)

Virginia Miller (Mayo Clinic, USA)

James K. Liao (University of Chicago, USA)

Donald D. Heistad (University of Iowa Carver College of Medicine, USA)

Frank W. Sellke (Brown Med School/Rhode Island Hospital, USA)

Friedhelm Beyersdorf (Heart Center Freiburg University, Germany)

5. プレナリーセッション

(1) 20年後の冠動脈疾患の治療

[80回記念企画] 〈英語〉

国内座長：木村 剛 (京都大学 循環器内科)

(2) 不整脈治療の近未来

[80回記念企画] 〈英語〉

国内座長：青沼 和隆 (筑波大学 循環器内科)

(3) 二十年後を見据えた心不全診療のあり方—基礎・臨床研究からの提言と臨床での実践—

[80回記念企画] 〈英語〉

国内座長：北風 政史 (国立循環器病研究センター 臨床研究部・心臓血管内科)

- (4) 近未来の循環器画像診断 [80回記念企画] 〈英語〉
国内座長：木原 康樹 (広島大学 循環器内科学)
- (5) 脂質異常症治療の将来展望 [80回記念企画] 〈英語〉
国内座長：朔 啓二郎 (福岡大学 心臓・血管内科学)
- (6) 循環器疾患における性差医療Up to Date 〈英語〉
国内座長：瀧原 圭子 (大阪大学 保健センター)
- (7) 弁膜症に対する非侵襲的治療の進歩 〈日本語〉
国内座長：山本 一博 (鳥取大学 病態情報内科学)
澤 芳樹 (大阪大学 心臓血管外科学)
- (8) 肺高血圧診療における進歩と未来 [80回記念企画] 〈英語〉
国内座長：伊藤 浩 (岡山大学 循環器内科学)
- (9) 院外心停止：新知見と異論・争論 〈英語〉
国内座長：安田 聡 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門)
- (10) 東日本大震災復興5周年—我々は何を学び、今後、何をなすべきか？— 〈日本語〉
国内座長：下川 宏明 (東北大学 循環器内科学)
竹石 恭知 (福島県立医科大学 循環器・血液内科学)
- (11) 循環器病学の近未来を語ろう [80回記念企画] 〈日本語〉
国内座長：伊藤 浩 (岡山大学 循環器内科)
横山 斉 (福島県立医科大学 心臓血管外科学)

6. シンポジウム

- (1) 生体吸収型ステントの現状と可能性 〈日本語〉
国内座長：尾崎 行男 (藤田保健衛生大学 循環器内科)
上野 高史 (久留米大学 循環器病センター)
- (2) メタボリックシンドロームによる動脈硬化のメカニズムはどこまで解明されたか 〈英語〉
国内座長：倉林 正彦 (群馬大学 臓器病態内科学)
- (3) Polyvascular Disease としての動脈硬化の診断と治療の進歩 〈日本語〉
国内座長：平田 健一 (神戸大学 内科学講座循環器内科学分野)
佐田 政隆 (徳島大学 ヘルスバイオサイエンス研究部循環器内科学分野)
- (4) 新規デバイスによる不整脈の診断と治療の進歩 〈日本語〉
国内座長：埴田 浩 (福井大学 循環器内科学)
萩原 誠久 (東京女子医科大学 循環器内科)
- (5) コホート研究・臨床試験から見てきた HFpEF の課題 〈日本語〉
国内座長：筒井 裕之 (北海道大学 循環病態内科学)
斎藤 能彦 (奈良県立医科大学 第一内科)
- (6) 未来に向かう高血圧診療の潮流 〈日本語〉
国内座長：長谷部直幸 (旭川医科大学 循環・呼吸・神経病態内科学分野)
森下 竜一 (大阪大学 臨床遺伝子治療学)
- (7) 20年後の再生医療を予測する [80回記念企画] 〈日本語〉
国内座長：福田 恵一 (慶應義塾大学 循環器内科)
室原 豊明 (名古屋大学循環器内科)
- (8) 疾患 IPS 細胞から創薬へ 〈英語〉
国内座長：小室 一成 (東京大学 循環器内科学)
- (9) 新しいデバイス治療を支える画像診断 〈日本語〉
国内座長：陣崎 雅弘 (慶應義塾大学 放射線診断科)
増山 理 (兵庫医科大学 内科学循環器内科)
- (10) 二次予防コホートによる介入の効果比較研究 〈日本語〉
国内座長：平山 篤志 (日本大学 内科学講座循環器内科部門)
小川 久雄 (熊本大学 循環器内科学)
- (11) 2025年を見据えた循環器領域の医療と介護の連携 〈日本語〉
国内座長：永井 良三 (自治医科大学)
楠岡 英雄 (国立病院機構 大阪医療センター)

- (12) 成人先天性心疾患をどのように評価し治療するか—基礎から最先端まで 〈日本語〉
国内座長：白石 公 (国立循環器病研究センター 小児循環器部)
赤阪 隆史 (和歌山県立医科大学 循環器内科)
- (13) 成人先天性心疾患の画像診断 〈英語〉
国内座長：石井 正浩 (北里大学 小児科)
- (14) CTEPH 診療の最前線 〈日本語〉
国内座長：伊藤 正明 (三重大学 循環器・腎臓内科学)
佐藤 徹 (杏林大学 循環器内科)
- (15) 重症虚血肢に対する最新治療 〈日本語〉
国内座長：東 信良 (旭川医科大学 外科学第一講座)
中村 正人 (東邦大学医療センター 大橋病院循環器内科)
- (16) 循環器疾患予防に向けた糖尿病治療 〈日本語〉
国内座長：代田 浩之 (順天堂大学 循環器内科学)
湊口 信也 (岐阜大学 循環器内科)
- (17) 大動脈瘤治療の可能性を探る 〈日本語〉
国内座長：志水 秀行 (慶應義塾大学 心臓血管外科)
古森 公浩 (名古屋大学 血管外科)
- (18) 心肺蘇生ガイドライン2015を活かす 〈日本語〉
国内座長：木村 一雄 (横浜市立大学附属 市民総合医療センター 心臓血管センター)
野々木 宏 (静岡県立総合病院)
- (19) 心筋症の基礎と臨床：新しい視点からの展開 〈日本語〉
国内座長：磯部 光章 (東京医科歯科大学 循環制御内科学)
山岸 正和 (金沢大学 臓器機能制御学・循環器内科)
- (20) 最新ゲノム医学から探る心血管システムの分子基盤～発生から病態まで～ 〈日本語〉
国内座長：南野 徹 (新潟大学 循環器学分野)
尾池 雄一 (熊本大学 分子遺伝学)
- (21) 世界スタンダードとなりうる日本型臨床研究のあり方を模索する 〈日本語〉
国内座長：植田真一郎 (琉球大学 臨床薬理学)
野出 孝一 (佐賀大学 循環器内科)
- (22) 循環器診療におけるハートチームの役割 〈日本語〉
国内座長：山科 章 (東京医科大学 第二内科循環器内科)
吉田 俊子 (宮城大学 看護学部成人看護学)
- (23) 医療研究・開発の環境整備と循環器診療—国際化時代の医療イノベーション— 〈日本語〉
国内座長：池野 文昭 (スタンフォード大学)
末松 誠 (日本医療研究開発機構) (予定)
- (24) 心疾患を有する妊婦への対応 〈日本語〉
国内座長：池田 智明 (三重大学 産婦人科)
市田 露子 (富山大学 小児科)
- (25) 補助人工心臓を日本の循環器医療にどう活かすか 〈日本語〉
国内座長：小野 稔 (東京大学 心臓血管外科)
坂田 泰史 (大阪大学 循環器内科学)
- (26) 抗血栓療法新時代 〈日本語〉
国内座長：宮崎 俊一 (近畿大学 循環器内科)
奥村 謙 (弘前大学 循環呼吸腎臓内科学)
- (27) 冠動脈疾患における冠動脈機能異常の重要性 〈日本語〉
国内座長：安田 聡 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門)
高橋 潤 (東北大学 循環器内科学)
- (28) 睡眠時呼吸障害診療の最前線 〈日本語〉
国内座長：伊藤 宏 (秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学)
百村 伸一 (自治医科大学附属さいたま医療センター 循環器科)

7. 会長特別企画

8. ジョイントシンポジウム

- (1) ESC-JCS Joint Symposium
- (2) AHA-JCS Joint Symposium
- (3) ACC-JCS Joint Symposium
- (4) CSC-JCS Joint Symposium

9. 市民公開講座

日 時：2016年3月5日(土)14：00～16：00(予定)
会 場：仙台国際センター 大ホール

プレナリーセッション, シンポジウム公募演題募集要項

2015年7月13日(月)午前10:00～8月19日(水)午前6:00 新規登録締切(時間厳守)

8月20日(木)午前6:00 修正締切 (時間厳守)

※締切後は演題の登録, 修正, 削除などの操作は一切できません。

※午前6:00に登録(修正)途中の場合においても, 登録(修正)完了できません。必ず午前6:00までに登録完了するよう, 予めスケジュールをご確認ください。

※締切直前はホームページへのアクセスが集中し, 演題ページの動作が遅くなる場合があります。余裕をもってお早めにご応募頂きますようお願いいたします。

※女性会員の積極的な応募を期待します。

1. 今回のプレナリーセッション, シンポジウムは全セッション公募演題を募集します。応募される方は, 本文(タイトル, 著者名, 所属機関名を除く)260 words 以内(図表を含む場合は170 words 以内)の英文抄録を, 学術集会ホームページから演題登録用ページにアクセスして登録してください。
2. 新規演題登録は2015年7月13日(月)午前10:00より開始し, 8月19日(水)午前6:00に締め切ります。翌日8月20日(木)午前6:00までは修正・削除が可能です。
3. プレナリーセッション, シンポジウム両セッションを通じて, 応募できるのは一人につき1テーマのみです。
4. 演題応募の時点で, 筆頭著書および共著者は本学会会員であり, かつ2015年度会費納入者であることが必要です。(※ただし, 学部学生, 修士, 初期研修医, 外国人留学生はこの限りではない。)入会をご希望の方は, 下記ホームページよりご入会の手続きをお願いいたします。なお, 入会は, 入会金2,000円および2015年度会費(正会員:15,000円, 準会員:8,000円)のお振込みをもって完了します。

(一社)日本循環器学会事務局

URL <http://www.j-circ.or.jp/form/nyukai.htm>

5. 日本循環器学会の臨床研究の利益相反(Conflict of Interest, COI と略す)に関する共通指針と細則に基づき, 筆頭発表者は, 配偶者, 一親等の親族, 生計を共にする者も含めて, 当該演題発表に関して, 「臨床研究に関連する企業, 法人組織や営利を目的とした団体」との経済的な関係について過去1年間におけるCOI状態の有無を, 抄録登録時に自己申告をしてください。また, 筆頭発表者は該当するCOI状態について, 発表スライドの最初(または演題・発表者などを紹介するスライドの次)に, あるいはポスターの最後に開示が必要となります。
6. 各プレナリーセッション, シンポジウムの座長による要旨(開催要旨)については, 6月末までに学術集会ホームページのプログラムページにおいて公開いたします。また, 日本循環器学会誌会告4号にも掲載されます。応募される方は, かならずご参照ください。
7. 国内の他学会または学会誌にて既に発表された演題と明らかに同一と会長が認めた演題は, 演題採択の前後を問わず, 取り消しとします。
8. 異なるカテゴリーで同じ内容の演題が重複登録された場合は, 採択演題発表の前後を問わず, いずれの演題も取り消します。
9. プレナリーセッション, シンポジウムの開催要領は原則として下記の通りです(ただし一部の日本語発表セッションを除く)。
 - 1) プレナリーセッション:
 - ・招請外国人による講演(state-of-the-art)を行う。その後, 招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表。
 - ・発表者は各専門領域における各自のデータに加え, 現況と将来の方向について講演(オーバービュー)する。
 - ・発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする(同時通訳をつけます)。
 - ・総合討論は行わない。
 - 2) シンポジウム:
 - ・招請外国人による講演(keynote lecture)を行う。その後, 招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表。ただし一部の日本語発表セッションを除く。

- 各自の最先端の研究について発表し，自由な討論を行う．
 - 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする(同時通訳はつけません)．
10. 演題の取り消しは，会期初日の2カ月前(2016/1/18)までに連絡があった場合に限り受理します．以後(2016/1/19～)については，発表業績として取り扱うこととし，取り消しは致しかねます．
 11. 申し込み演題の採否結果は，9月15日(火)夕刻までにE-mailでご連絡します．

ホームページ案内・一般演題応募要領

第80回日本循環器学会学術集会ホームページ <http://www2.convention.co.jp/jcs2016/> を開設致します(5月中旬予定)。演題応募や学術集会プログラム確認などにご利用ください。本会ホームページからもリンクしております。

一般演題応募要領

第80回日本循環器学会学術集会において研究発表を希望する方は、以下の申込要項に従って応募してください。

1. 演題登録サイト

演題登録は第80回日本循環器学会学術集会ホームページからのみ可能です。

<http://www2.convention.co.jp/jcs2016/>

演題登録の方法、注意事項はすべて演題登録用ページ上に掲載されます。ホームページ内に記載されている注意事項を確認のうえ登録してください。

2. 演題登録期間

2015年7月13日(月)午前10:00～9月30日(水)午前6:00 新規登録締切り(時間厳守)
10月1日(木)午前6:00 修正締切り (時間厳守)

※締切後は演題の登録、修正、削除などの操作は一切できません。

※午前6:00に登録(修正)途中の場合においても、登録(修正)完了できません。必ず午前6:00までに登録完了するよう、予めスケジュールをご確認ください。

※締切直前はホームページへのアクセスが集中し、演題ページの動作が遅くなる場合があります。余裕をもってお早めにご応募頂きますようお願いいたします。

※女性会員の積極的な応募を期待します。

7月13日(月)午前10:00から9月30日(水)午前6:00までは新規登録期間です。削除することも可能です。また翌日10月1日(木)午前6:00の修正締切りまでは演題の修正・削除ができます。締切り後は演題の登録、修正、削除等の操作は一切できません。なお、締切り直前はホームページへのアクセスが集中し、演題ページ動作が遅くなることが予想されますので、余裕をもってお早めにご応募くださるようお願いいたします。

ご使用になるコンピューター環境によってはホームページから登録できない可能性があります(例:ローカルネットへの外部からの侵入を防ぐためにファイアウォールが設定されている場合など)。ホームページから演題登録ができなかった場合でも特別な配慮は致しませんのでご注意ください。

3. 提出様式と発表形式

(1) 一般演題は、英文抄録で募集します。

(2) 抄録本文について

抄録本文(タイトル、著者名、所属機関名を除く)のワード数は220 words 以内とします。図表を含むこともできますが、GIF または JPEG 形式で10M バイト以下のもの1つに限ります(縦長、横長いずれでも可。約6×4cmに縮小して掲載します)。図表を含む場合には本文のワード数は130 words 以内となります。

(3) 演題登録番号およびパスワード

演題を登録する際に、演題登録番号が自動的に割り当てられ、任意のパスワードを決めていただきます。演題登録番号とパスワードにて登録内容を何回でも変更することができます。パスワードの保存とその機密保持に関しては登録者の管理といたします。演題登録番号およびパスワードは登録演題内容の変更のほか、受領確認、採否確認にも必要ですので必ず記録しておいてください。パスワードを紛失した場合でも、セキュリティの関係から問い合わせには一切応じられませんのでご注意ください。

(4) 応募時に、発表言語については「英語」「日本語または英語のどちらでもよい」のどちらかひとつを選択していただきます。

- (5) 発表形式についても、口述またはポスターを選択できます。
- (6) 一般演題の発表形式は、以下のように分けられます。
 - ① Featured Research Session(英語発表希望者抄録のうち比較的高得点の演題から構成する)
 - ② 一般口述発表(発表希望言語により日本語または英語セッションに分ける)
 - ③ ポスター発表(発表希望言語により日本語または英語セッションに分ける)
- (7) 発表言語は、原則として、応募時の希望通りとします。ただし、発表形式(口述またはポスター)については最終的に学術集会事務局が調整、決定させていただきます。
- (8) なお、受理された抄録の演題名、所属、著者名、抄録本文については、投稿時のデータがそのまま抄録集に掲載されます。登録の際には、ホームページ上の注意事項をよく参照の上、入力してください。
- (9) 筆頭著者、共著者とも会員番号をご入力いただきます。誤った会員番号を入力しますと年会費の請求が生じる場合がありますのでご注意ください。なお、会員番号がご不明の際は、必ず(一社)日本循環器学会事務局までお問い合わせください。
- (10) 抄録集にキーワード別検索のインデックスページを設けますので、正確なキーワードを選択してください。

4. 国内演者の応募資格

演題応募の時点で、筆頭著書および共著者は本学会会員であり、かつ2015年度会費納入者であることが必要です。(※ただし、学部学生、修士、初期研修医、外国人留学生はこの限りではない。)入会をご希望の方は、下記ホームページよりご入会の手続きをお願いいたします。なお、入会は、入会金2,000円および2015年度会費(正会員：15,000円、準会員：8,000円)のお振込みをもって完了します。

(一社)日本循環器学会事務局
URL <http://www.j-circ.or.jp/form/nyukai.htm>

5. 臨床研究の利益相反(Conflict of Interest, COI と略す)について

日本循環器学会の臨床研究の利益相反(Conflict of Interest, COI と略す)に関する共通指針と細則に基づき、筆頭発表者は、配偶者、一親等の親族、生計を共にする者も含めて、当該演題発表に関して、「臨床研究に関連する企業、法人組織や営利を目的とした団体」との経済的な関係について過去1年間におけるCOI状態の有無を、抄録登録時に自己申告をしてください。また、筆頭発表者は該当するCOI状態について、発表スライドの最初(または演題・発表者などを紹介するスライドの次)に、あるいはポスターの最後に開示が必要となります。

6. 注意事項

- (1) 同一筆頭演者の演題登録は10題以下とします。11題以上の登録があった場合は、全ての登録演題を取り消します。
- (2) 国内の他学会または学会誌にて既に発表された演題と明らかに同一と認めた演題は、演題採択の前後を問わず、取り消しとします。
- (3) 異なるカテゴリーで同じ内容の演題が重複登録された場合は、採択演題発表の前後を問わず、いずれの演題も取り消します。
- (4) 演題の取り消しは、会期初日の2ヶ月前(2016年1月18日)までに連絡があった場合に限り受理します。以後(2016年1月19日～)については、発表業績として取り扱うこととし、取り消しは致しかねます。
- (5) 演題登録に関する問い合わせ

別便で郵送が必要なものではありません。ホームページによる演題登録に関するお問い合わせは、(一社)日本循環器学会事務局までE-mail またはFaxにてご連絡ください。

一般社団法人 日本循環器学会
担当：吉浜・山田・西口
E-mail: meeting@j-circ.or.jp
Tel: 03-5501-0862 Fax: 03-5501-9855

7. 演題受領通知および演題採否通知

演題受領通知, 並びに演題採否通知のはがきは送付いたしません. 演題受領の有無は学会ホームページの演題登録画面にて, 演題登録番号, パスワードを入力してご確認ください. ただし, 演題登録時に E-mail アドレスを入力された方には E-mail でも受領通知が届きます.

採択された演題は, 2015年11月下旬から12月上旬に登録番号, 採択演題名, 筆頭演者名をホームページでカテゴリー別に掲示しますので, 各自ご確認ください.

8. 演題の採否決定

申込演題の採否は会長が委嘱する査読者の採点に基づいて会長が決定します.

Late Breaking Clinical Trials 演題募集要項

1. 演題応募方法

第80回日本循環器学会学術集会では、セッション「Late Breaking Clinical Trials」(公募・一部指定)を開催いたします。演題応募される方は、第80回日本循環器学会学術集会ホームページ(<http://www2.convention.co.jp/jcs2016/>)から演題登録用ページにアクセスして登録してください。

2. 演題募集期間

2015年9月7日(月)午前10:00～10月28日(水)17:00 必着(時間厳守)

※締切後は演題の登録、修正、削除などの操作は一切できません。

※17:00に登録(修正)途中の場合においても、登録(修正)完了できません。必ず17:00までに登録完了するよう、予めスケジュールをご確認下さい。

※締切直前はホームページへのアクセスが集中し、演題ページの動作が遅くなる場合があります。余裕をもってお早めにご応募頂きますようお願いいたします。

3. 応募内容

ここでいう Clinical Trial とは、ヒトを対象とする医学研究で、予防、診断または治療法に関する介入試験を指します。医薬品又は医療機器を用いた介入が主体ですが、それ以外の食事・運動・リハビリ等による介入も含むことにいたします。例として、薬剤を用いたランダム化比較試験などが挙げられます。介入のない前向き観察研究は、Cohort Study で扱います。

応募内容は、本学会で初めて結果を公表されるもので、かつ他の学会に発表または応募をされていない Clinical Trial を最優先いたします。ただし、既に発表されたものであっても、本学会で改めて発表を希望される Trial につきましても採択を考慮いたしますので、奮ってご応募ください。

4. 抄録内容

抄録の内容は、今回初めて発表される場合は、背景、目的、方法、デザイン等のみで結構です。結果や結論は記載する必要はありません。

5. 提出様式

英文抄録を募集します。抄録本文(タイトル、著者名、所属機関名を除く)のワード数は260 words 以内、タイトルのワード数は20 words 以内とします。図表を含むこともできますが、GIF または JPEG 形式で10 M バイト以下のもの1つに限ります(縦長、横長いずれでも可。約6×4cm に縮小して掲載します)。図表を含む場合には本文のワード数は170 words 以内とします。なお、受理された抄録の演題名、所属、著者名、抄録本文については、投稿時のデータがそのまま抄録集に掲載されます。登録の際には、演題登録ページ中の注意事項をよくご参照の上、入力してください。

6. 応募資格・条件

演題応募の時点で、筆頭著書および共著者は本学会会員であり、かつ2015年度会費納入者であることが必要です(※ただし、学部学生、修士、初期研修医、外国人留学生はこの限りではない)。入会をご希望の方は、下記ホームページよりご入会の手続きをお願いいたします。なお、入会は、入会金2,000円および2015年度会費(正会員:15,000円、準会員:8,000円)のお振込みをもって完了します。

(一社)日本循環器学会事務局

URL <http://www.j-circ.or.jp/form/nyukai.htm>

ただし、臨床試験実施参加者は必ずしも会員である必要はありません。

また、採択演題の中から編集委員会の選考を経た数件の研究に対して、Circulation Journal への論文投稿を依頼することとなります。Late Breaking Clinical Trials の演題応募に際しては、抄録が編集委員会の選考

資料となることにご同意いただいたものとさせていただきますので、ご了承ください。なお Circulation Journal への投稿は任意であり、ご辞退されても演題採択結果には影響いたしません。

7. 臨床研究の利益相反 (Conflict of Interest, COI と略す) について

日本循環器学会の臨床研究の利益相反 (Conflict of Interest, COI と略す) に関する共通指針と細則に基づき、筆頭発表者は、配偶者、一親等の親族、生計を共にする者も含めて、当該演題発表に関して、「臨床研究に関連する企業、法人組織や営利を目的とした団体」との経済的な関係について過去 1 年間における COI 状態の有無を、抄録登録時に自己申告をしてください。また、筆頭発表者は該当する COI 状態について、発表スライドの最初(または演題・発表者などを紹介するスライドの次)に、あるいはポスターの最後に開示が必要となります。

8. 採否通知

採択演題は2015年12月中旬までに E-mail にてご連絡いたします。

9. 開催要領および発表形式

開催要領・発表形式は後日発表いたします。

10. その他

- 演者・共同演者は COI には十分ご注意ください。
- 演題の取り消しは、会期初日の 2 ヶ月前 (2016 年 1 月 18 日) までに連絡があった場合に限り受理します。以後 (2016 年 1 月 19 日～) については、発表業績として取り扱うこととし、取り消しは致しかねます。

Late Breaking Cohort Studies 演題募集要項

1. 演題応募方法

第80回日本循環器学会学術集会では、セッション「Late Breaking Cohort Studies」を開催いたします。演題応募される方は、第80回日本循環器学会学術集会ホームページ(<http://www2.convention.co.jp/jcs2015/>)から演題登録用ページにアクセスして登録してください。

2. 演題募集期間

2015年9月7日(月)午前10:00～10月28日(水)17:00 必着(時間厳守)

※締切後は演題の登録、修正、削除などの操作は一切できません。

※17:00に登録(修正)途中の場合においても、登録(修正)完了できません。必ず17:00までに登録完了するよう、予めスケジュールをご確認下さい。

※締切直前はホームページへのアクセスが集中し、演題ページの動作が遅くなる場合があります。余裕をもってお早めにご応募頂きますようお願いいたします。

3. 応募内容

ここでいう Cohort Study とは、前向き疫学研究を指します。地域や職域集団を追跡する研究のみだけでなく、医療機関において特定の疾患群や治療群をレジストリ登録し、イベントの発生とその要因の関係を前向きに調べる観察研究もここで扱うことにいたします。

応募内容は、本学会で初めて結果を公表されるもので、かつ他の学会に発表または応募をされていない Cohort Study を最優先いたします。ただし、既に発表されたものであっても、本学会で改めて発表を希望される Study につきましても採択を考慮いたしますので、奮ってご応募ください。

4. 抄録内容

抄録の内容は、今回初めて発表される場合は、背景、目的、方法デザイン等のみで結構です。結果や結論は記載する必要はありません。

5. 提出様式

英文抄録を募集します。抄録本文(タイトル、著者名、所属機関名を除く)のワード数は260 words 以内、タイトルのワード数は20 words 以内とします。図表を含むこともできますが、GIF または JPEG 形式で10 M バイト以下のもの1つに限ります(縦長、横長いずれでも可。約6×4cmに縮小して掲載します)。図表を含む場合には本文のワード数は170 words 以内とします。なお、受理された抄録の演題名、所属、著者名、抄録本文については、投稿時のデータがそのまま抄録集に掲載されます。登録の際には、演題登録ページ中の注意事項をよくご参照の上、入力してください。

6. 応募資格・条件

演題応募の時点で、筆頭著書および共著者は本学会会員であり、かつ2015年度会費納入者であることが必要です。(※ただし、学部学生、修士、初期研修医、外国人留学生はこの限りではない。)入会をご希望の方は、下記ホームページよりご入会の手続きをお願いいたします。なお、入会は、入会金2,000円および2015年度会費(正会員:15,000円、準会員:8,000円)のお振込みをもって完了します。

(一社)日本循環器学会事務局

URL <http://www.j-circ.or.jp/form/nyukai.htm>

ただし、臨床試験実施参加者は必ずしも会員である必要はありません。

また、採択演題の中から編集委員会の選考を経た数件の研究に対して、Circulation Journal への論文投稿を依頼することとなります。Late Breaking Cohort Studies の演題応募に際しては、抄録が編集委員会の選考資料となることにご同意いただいたものとさせていただきますので、ご了承ください。なお Circulation

Journal への投稿は任意であり、ご辞退されても演題採択結果には影響いたしません。

7. 臨床研究の利益相反(Conflict of Interest, COI と略す)について

日本循環器学会の臨床研究の利益相反(Conflict of Interest, COI と略す)に関する共通指針と細則に基づき、筆頭発表者は、配偶者、一親等の親族、生計を共にする者も含めて、当該演題発表に関して、「臨床研究に関連する企業、法人組織や営利を目的とした団体」との経済的な関係について過去1年間におけるCOI状態の有無を、抄録登録時に自己申告をしてください。また、筆頭発表者は該当するCOI状態について、発表スライドの最初(または演題・発表者などを紹介するスライドの次)に、あるいはポスターの最後に開示が必要となります。

8. 採否通知

採択演題は12月中旬にE-mailにてご連絡いたします。

9. 開催要領および発表形式

開催要領・発表形式は後日発表いたします。

10. その他

- 演者・共同演者はConflict of Interestsには十分ご注意ください。
- 演題の取り消しは、会期初日の2ヶ月前(2016年1月18日)までに連絡があった場合に限り受理します。以後(2016年1月19日～)については、発表業績として取り扱うとし、取り消しは致しかねます。

学会賞応募要領

日本心臓財団佐藤賞募集要領

●趣 旨

国民死因の首位を占める心臓血管病の制圧を目指す財団法人日本心臓財団では、わが国の心臓病学の発展を願い、日本循環器学会の協力を得て、昭和49年5月に逝去された故佐藤喜一郎初代会長を追悼記念する「日本心臓財団 佐藤賞」を設け、斯学の発展に寄与する。

●対 象

本賞は、近年日本において循環器領域で顕著な業績を上げ、今後もこの分野で中心的な役割を果たすことが期待される研究者1名に対し授与する。

●応募資格

- 1) 近年(過去5年間)において、その一連の研究成果が顕著であったことが研究論文等の業績において明らかであり、循環器学に対するこれまでの貢献が顕著と認められる者。
- 2) 申請時において、継続して7年以上会費を完納した日本循環器学会会員(正会員または準会員)である者。
- 3) 2016年3月31日現在において50歳未満であり、今後、循環器領域で指導的立場を担う研究者である者。
- 4) 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
- 5) 未受賞の論文(研究)のみを対象とする。国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない。
- 6) 応募は1施設(教室)から1名とする。

●選考方法

佐藤賞選考委員会による書類選考

●応募方法と提出書類

1. 施設主任(教授相当)により、1名の推薦を受け付ける。(自薦も可)
2. 次の①②を所定の形式で、③④を任意の形式でそれぞれ作成し、①～⑤の全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会(京都)事務局に送付すること。なお、応募書類は返却しない。
 - ①推薦書(所定用紙)：候補者の研究主題と1,000字以内の推薦理由を記入。
 - ②履歴書(所定用紙)
 - ③研究テーマの要約：2,000字以内に研究主題に関する業績を要約。
 - ④業績目録
 - ⑤研究主題と関連した主たる論文3編の別冊。

※①②については、第80回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「佐藤賞募集要領」からダウンロードしてください。

●選考結果の通知

2015年12月中旬頃

●選考発表(授賞式)

第80回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●その他

賞…賞牌および副賞100万円

受賞講演…その業績について、第80回日本循環器学会学術集会に受賞講演(英語)を行い、日本循環器学会誌(Circulation Journal)に総説を執筆する。

募集締切

2015年9月18日(金)17時必着

お問い合わせ先・送付先

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

(一社)日本循環器学会(JCS)事務局：

第80回日本循環器学会学術集会(佐藤賞)

担当：学術集会グループ 山田

TEL: 03-5501-0862 FAX: 03-5501-9855

E-mail: meeting@j-circ.or.jp

Young Investigator's Award 候補論文募集要領

(Basic Research部門, Clinical Research 部門)

●趣 旨

日本循環器学会では、独創的な研究の奨励と若手研究者の育成を目的として、「日本循環器学会 Young Investigator's Award」を設け、毎年度の優秀論文を顕彰する。

●対 象

- 1) 国内で行われた循環器学に関する基礎的及び臨床的研究であること。
- 2) 2015年9月末日までに印刷・online で公表されていない原著論文であること。
- 3) 応募者がその研究の着想および遂行に重要な役割を果たしたものであること。
- 4) 未受賞の論文(研究)のみを対象とする。国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない。
- 5) first author であること

●応募資格

- 1) 日本循環器学会会員(正会員または準会員)であること。
- 2) 2016年3月31日現在満40歳未満の者。
- 3) 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
- 4) 1施設(教室)からの複数応募は本賞に限り妨げない。

●選考方法

- 1) 第一次審査…Young Investigator's Award Basic Research, Clinical Research 各選考委員会の書類選考
- 2) 第二次審査…学術集会における口述発表(英語)
- 3) 最終審査 …口述発表者の中からBasic Research 部門, Clinical Research 部門, 最優秀賞1名および優秀賞3名を各々決定する。

●応募方法と提出書類

次の②を所定の形式で、①③④を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー6部の計7部ずつホッチキス・クリップ止めをせずに本会事務局宛に送付すること。

なお、応募書類は返却しない。

①英文原著論文

②履歴書(Basic Research 部門, Clinical Research 部門 各所定用紙)

③過去5年の英文論文業績目録

④応募研究において応募者が果たした役割について研究指導責任者の証明書

※②については、第80回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「Young Investigator's Award 募集要領」からダウンロードしてください。

●第一次選考結果の通知

2015年12月中旬頃

●選考発表(授賞式)

第80回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●そ の 他

賞…賞状および奨励金(総額150万円)

募集締切

2015年9月18日(金)17時必着

お問い合わせ先・送付先

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

(一社)日本循環器学会(JCS)事務局:

第80回日本循環器学会学術集会(Young Investigator's Award)

担当:学術集会グループ 山田

TEL. 03-5501-0862 FAX. 03-5501-9855

E-mail: meeting@j-circ.or.jp

日本循環器学会 CPIS 賞募集要領

●趣 旨

日本循環器学会は1989年に京都にて開催された、第3回心臓血管薬物療法国際会議(Cardiovascular Pharmacotherapy International Symposium, CPIS 会長：河合忠一)を記念し、わが国の循環器学とくに循環器病薬物療法の発展を願って寄付された基金をもとに「日本循環器学会 CPIS 賞」を設け、毎年度の優秀論文を顕彰する。

●対 象

- 1) 国内外を問わず行われた循環器学における薬物療法に関する研究論文であること。
- 2) 応募論文は、この1年間(締切日より過去1年間)に発表(online 含む)または投稿中のものであること。
- 3) 未受賞の論文(研究)のみを対象とする。国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない。
- 4) first author であること

●応募資格

- 1) 日本循環器学会会員(正会員または準会員)であること。
- 2) 2016年3月31日現在40歳未満の者。
- 3) 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
- 4) 応募は1施設(教室)から1名とする。

●選考方法

CPIS 賞選考委員会の書類選考による。受賞者は毎年1名とする。

●応募方法と提出書類

次の②を所定の形式で、①③を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー8部の計9部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会事務局宛に送付すること。

なお、応募書類は返却しない。

- ①英文原著論文
- ②履歴書(所定用紙)
- ③過去5年の英文論文業績目録

※②については、第80回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「CPIS 賞募集要領」からダウンロードしてください。

●選考結果の通知

2015年12月中旬頃

●選考発表(授賞式)

第80回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●そ の 他

賞…賞状および副賞(50万円)

募集締切

2015年9月18日(金)17時必着

お問い合わせ先・送付先

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

(一社)日本循環器学会(JCS)事務局：

第80回日本循環器学会学術集会(CPIS 賞)

担当：学術集会グループ 山田

TEL. 03-5501-0862 FAX. 03-5501-9855

E-mail: meeting@j-circ.or.jp

日本循環器学会循環器再生医科学賞募集要領

(臨床研究部門, 基礎研究部門)

●趣 旨

日本循環器学会は、2006年に名古屋で開催された第70回記念日本循環器学会学術集会(会長：藤原久義)の基金をもとに21世紀医学の中心的テーマの1つである再生医科学の領域において、「日本循環器学会循環器再生医科学賞」を設けて毎年度の優秀論文を顕彰する。

●対 象

- 1) 国内外を問わず、再生医療の臨床及び基礎研究に貢献した研究者であること。
- 2) 応募論文は、この1年間(締切日より過去1年間)に発表(online 含む)または投稿中であること。
- 3) 未受賞の論文(研究)のみを対象とする。国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない。
- 4) first author であること。

●応募資格

- 1) 申請時において日本循環器学会会員(正会員または準会員)であること。
- 2) 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
- 3) 応募は1施設(教室)から1名とする。
(臨床研究と基礎研究を合わせて1施設、よって1施設からは1名の応募のみとする)

●選考方法

循環器再生医科学賞選考委員会の書類選考による。受賞者は毎年、基礎研究部門1名、臨床研究部門1名の合計2名とする。

●応募方法と提出書類

次の②を所定の形式で、①③④を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会(京都)事務局宛に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

- ①英文原著論文
- ②履歴書(基礎研究部門, 臨床研究部門 各所定用紙)
- ③過去5年の英文論文業績目録
- ④応募研究において応募者が果たした役割について研究指導責任者の証明書

※②については、第80回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「再生医科学賞募集要領」からダウンロードしてください。

●選考結果の通知

2015年12月中旬頃

●選考発表(授賞式)

第80回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●そ の 他

賞…賞状および副賞(総額100万円)

募集締切

2015年9月18日(金)17時必着

お問い合わせ先・送付先

〒100-0011 東京都千代田区千代田1-1-1 帝国ホテルタワー18F

(一社)日本循環器学会(JCS)事務局:

第80回日本循環器学会学術集会(循環器再生医科学賞)

担当: 学術集会グループ 山田

TEL. 03-5501-0862 FAX. 03-5501-9855

E-mail: meeting@j-circ.or.jp

国際留学生 Young Investigator's Award 募集要領【日】

●趣 旨

日本循環器学会国際交流委員会では、日本へ留学して循環器学領域で研究を行っている若手研究者を対象として、日本循環器学会総会において国際留学生 Young Investigator's Award を贈呈する。

●応募資格

- ①日本国以外の国籍を有し、外国の大学を卒業後日本に留学し、2016年3月31日現在で留学期間が7年未満の者
- ②申請時において日本循環器学会会員(正会員または準会員)であり、会費を完納していること。
- ③2016年3月31日現在で満40歳未満の者。
- ④第80回日本循環器学会当日に口述発表(英語)ができること。
- ⑤他の学会賞への応募と重複しないこと。
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
- ⑥過去に本賞の最優秀賞を受賞していないこと。

●対 象

日本国内で行われた循環器学に関する基礎的あるいは臨床的研究で、2015年9月末日までに印刷公表されていない研究。ただし、応募者がその研究の着想及び遂行に重要な役割を果たしたものであることを必要とする。

●応募方法

以下の書類5点を作成すること。5点いずれも書式は自由であるが各書類はA4一枚にまとめること。原本1部とコピー14部を簡易書留郵便で本会事務局宛に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

- ①英文抄録(題名・氏名・所属名を除いて本文220語以内)
- ②図表(一枚にいくつの図表を記載しても可)
- ③図表の説明(②の説明)
- ④資格証明書(研究指導者による、応募者が応募資格に該当する旨の証明)
- ⑤英文履歴書(会員番号を記入すること)

●選考方法

国際留学生 Young Investigator's Award 選考委員会の書類選考による第一次審査と学術集会における口述発表の第二次審査とする。受賞者は最優秀賞1名および優秀賞3～4名とする。

●結果通知

第一次審査結果は郵送により応募者に通知する。第二次審査結果は第80回日本循環器学会学術集会授賞式において発表し、賞の贈呈を行う。

応募締切

2015年9月18日(金)必着

お問い合わせ先・送付先

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

(一社)日本循環器学会(JCS)事務局:

第80回日本循環器学会学術集会(国際留学生 YIA)

担当:学術集会グループ 山田

TEL. 03-5501-0862 FAX. 03-5501-9855

E-mail: international@j-circ.or.jp

Guide for the Young Investigator's Award for International Students 【英】

[OBJECTIVE]

The International Committee of the Japanese Circulation Society awards the Young Investigator's Award to International Students who are young researchers who come to Japan to do their research and who contribute to the progress of cardiovascular and related fields.

[QUALIFICATIONS]

Each applicant must meet each of these criteria:

- ① Non-Japanese nationality, graduated from a university outside Japan and come to Japan to do a research, and have stayed in Japan for not more than 7 years as of March 31, 2016.
- ② A member (a regular member and an associate member) of the Japanese Circulation Society, and annual fee for membership must be paid before you apply.
- ③ Under 40 years old as of March 31, 2016.
- ④ Available to make an oral presentation in English at the 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society.
- ⑤ The manuscript submitted for the YIA award must not be submitted for other awards of the Japanese Circulation Society at the 80th Annual Scientific Meeting.
- ⑥ Non-winners of first place for YIA for International Students in the past.

[RESEARCH FOR THE AWARD]

Any basic or clinical science research in the cardiovascular or related fields that was conducted in Japan and has not been published as of September 30, 2015. Applicant must have made major contributions to the research concept(s) and conduct of the research.

[HOW TO APPLY]

Complete the following documents and submit them to the application office by registered mail. Documents should be 15 copies: one original, and fourteen photocopies. There are no special formats for these documents. Each document should be A-4 size: one page. The office will not return the documents regardless of the result for the award; the applicant is strongly encouraged to keep a copy of the original documents.

- ① Abstract: written in English, the length of abstract should not exceed 220 words without title, names and organizations
- ② Figures: no limit to the number of figures; all figures should be printed on one page
- ③ Legends of Figures: the legends of document
- ④ Certification of Qualifications: Prepared and signed by the director of applicant's research
- ⑤ Curriculum Vitae (written in English, include your JCS Registration Number)

[NOMINATION]

Preliminary nominations will be made based on the application documents. Final nominations will be made at the 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society. Awards will be granted for two categories: First place (to one applicant) and Second place (to three to four applicants).

[NOTIFICATION OF RESULT]

Applicants will receive a letter with the results of the preliminary nomination. The Japanese Circulation Society will announce results of the final nomination and confer the awards to finalists at Awards Ceremony during 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society.

[DEADLINE]

September 18, 2015. Applications must reach us by this date. There are no exceptions.

[APPLICATION OFFICE]

All documents must be sent to:
YIA for International Students
The Japanese Circulation Society
18th Floor, Imperial Hotel Tower,
1-1-1 Uchisaiwai-cho, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0011,
JAPAN

[CONTACT PERSON]

Congress Group, Shizuka Yamada
Phone: 03-5501-0862 Fax: 03-5501-9855
E-mail: international@j-circ.or.jp

日本循環器学会心臓血管外科賞募集要領

●趣 旨

日本循環器学会では、第70回記念日本循環器学会学術集会を記念して、「日本循環器学会心臓血管外科賞」を設け、毎年度の優秀論文を顕彰する。

●対 象

- 1) 国内外を問わず、心臓血管外科の臨床に貢献した研究者であること。
- 2) 応募論文は、この1年間(締切日より過去1年間)に発表(online 含む)または投稿中であること。
- 3) 未受賞の論文(研究)のみを対象とする。国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない。
- 4) first author であること。

●応募資格

- 1) 申請時において日本循環器学会会員(正会員または準会員)であること。
- 2) 2016年3月31日現在40歳未満の者。
- 3) 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
- 4) 応募は1施設(教室)から1名とする。

●選考方法

心臓血管外科賞選考委員会の書類選考による。受賞者は毎年1名とする。

●応募方法と提出書類

次の②を所定の形式で、①③④を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会(京都)事務局宛に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

- ①英文原著論文
- ②履歴書(所定用紙)
- ③過去5年の英文論文業績目録
- ④応募研究において応募者が果たした役割について研究指導責任者の証明書

※②については、第80回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「心臓血管外科賞募集要領」からダウンロードしてください。

●選考結果の通知

2015年12月中旬頃

●選考発表(授賞式)

第80回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●そ の 他

賞…賞状および副賞(30万円)

募集締切

2015年9月18日(金)17時必着

お問い合わせ先・送付先

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

(一社)日本循環器学会(JCS)事務局:

第80回日本循環器学会学術集会(心臓血管外科賞)

担当:学術集会グループ 山田

TEL. 03-5501-0862 FAX. 03-5501-9855

E-mail: meeting@j-circ.or.jp

日本循環器学会小児循環器賞募集要領

●趣 旨

日本循環器学会では、第70回記念日本循環器学会学術集会を記念して、「日本循環器学会小児循環器賞」を設け、毎年度の優秀論文を顕彰する。

●対 象

- 1) 国内外を問わず、小児循環器の臨床に貢献した研究者であること。
- 2) 応募論文は、この1年間(締切日より過去1年間)に発表(online 含む)または投稿中であること。
- 3) 未受賞の論文(研究)のみを対象とする。国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない。
- 4) first author であること。

●応募資格

- 1) 申請時において日本循環器学会会員(正会員または準会員)であること。
- 2) 2016年3月31日現在40歳未満の者。
- 3) 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
- 4) 応募は1施設(教室)から1名とする。

●選考方法

小児循環器賞選考委員会の書類選考による。受賞者は毎年1名とする。

●応募方法と提出書類

次の②を所定の形式で、①③④を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会(京都)事務局宛に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

- ①英文原著論文
- ②履歴書(所定用紙)
- ③過去5年の英文論文業績目録
- ④応募研究において応募者が果たした役割について研究指導責任者の証明書

※②については、第80回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「小児循環器賞募集要領」からダウンロードしてください。

●選考結果の通知

2015年12月中旬頃

●選考発表(授賞式)

第80回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●そ の 他

賞…賞状および副賞(30万円)

募集締切

2015年9月18日(金)17時必着

お問い合わせ先・送付先

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

(一社)日本循環器学会(JCS)事務局:

第80回日本循環器学会学術集会(小児循環器賞)

担当:学術集会グループ 山田

TEL. 03-5501-0862 FAX. 03-5501-9855

E-mail: meeting@j-circ.or.jp

女性研究者奨励賞募集要領

●趣 旨

日本循環器学会は、2007年に神戸で開催された第71回日本循環器学会学術集会(会長：横山光宏)を記念し、循環器の分野で活躍する女性研究者の支援となることを願って、「女性研究者奨励賞」を設けて毎年度の優秀論文を顕彰する。

●対 象

- 1) 国内外を問わず、循環器の臨床及び基礎研究に貢献した女性研究者であること。
- 2) 応募論文は、この1年間(締切日より過去1年間)に発表(online 含む)または投稿中であること。
- 3) 未受賞の論文(研究)のみを対象とする。国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない。
- 4) first author であること。

●応募資格

- 1) 申請時において日本循環器学会の女性会員(正会員または準会員)であること。
- 2) 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
- 3) 応募は1施設(教室)から1名とする。

●選考方法

女性研究者奨励賞選考委員会の書類選考による。受賞者は毎年1名とする。

●応募方法と提出書類

次の②を所定の形式で、①③④を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会(京都)事務局宛に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

- ①英文原著論文
- ②履歴書(所定用紙)
- ③過去5年の英文論文業績目録
- ④2,000字以内の研究業績の要約

※②については、第80回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「女性研究者奨励賞募集要領」からダウンロードしてください。

●選考結果の通知

2015年12月中旬頃

●選考発表(授賞式)

第80回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●そ の 他

賞…賞状および副賞(50万円)

募集締切

2015年9月18日(金)17時必着

お問い合わせ先・送付先

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

(一社)日本循環器学会(JCS)事務局：

第80回日本循環器学会学術集会(女性研究者奨励賞)

担当：学術集会グループ 山田

TEL. 03-5501-0862 FAX. 03-5501-9855

E-mail: meeting@j-circ.or.jp

日本循環器学会循環器臨床研究奨励賞募集要領

(臨床研究部門, 症例報告部門)

●趣 旨

日本循環器学会は、2011年に京都で開催された第74回日本循環器学会学術集会(会長:北 徹)を記念し、わが国の循環器学、特に循環器疾患に関する臨床医学の発展を願って「循環器臨床研究奨励賞」を設ける。本賞は、臨床研究部門と症例報告部門にわけ、それぞれ表彰する。

【臨床研究部門】

●対 象

- 1) 国内外を問わず、主体的に行った循環器病分野における一連の10年以内の研究論文1～3編を評価する。
First Author に限定しない。

●応募資格

- 1) 日本循環器学会会員(正会員または準会員)であること。
- 2) 2016年3月31日現在50歳以下の者。
- 3) 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
- 4) 応募は1施設(教室)から1名とする。

●選考方法

循環器臨床研究奨励賞選考委員会の書類選考による。受賞者は毎年「臨床研究部門」1名とする。

●応募方法と提出書類

次の②を所定の形式で、①③を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会事務局宛に送付すること。

なお、応募書類は返却しない。

- ①英文原著論文(1～3編)
- ②履歴書(所定用紙)
- ③過去5年の英文論文業績目録
- ④研究主題と主題の要約:1,000字以内に研究主題に関する業績を要約

※②については、第80回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「循環器臨床研究奨励賞募集要領」からダウンロードしてください。

●選考結果の通知

2015年12月中旬頃

●選考発表(授賞式)

第80回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●そ の 他

賞…賞状および副賞(臨床研究部門100万円×1名)

●採点項目

「オリジナリティ・クオリティ・循環器臨床への貢献度」の3項目について、各5点満点(最低1点～最高5点)で採点を行う。

募集締切

2015年9月18日(金)17時必着

【症例報告部門】

●対 象

国内外を問わず、この1年間(発刊日が締切日より過去1年間。in pressの場合は受理証明書を提出)に筆頭著者として論文発表した循環器病分野における症例報告論文1編を評価する。

●応募資格

- 1) 日本循環器学会会員(正会員または準会員)であること。
- 2) 2016年3月31日現在40歳以下の者。
- 3) 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析

は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)

4) 応募は1施設(教室)から1名とする。

●**選考方法**

循環器臨床研究奨励賞選考委員会の書類選考による。受賞者は毎年「症例報告部門」最優秀賞1名、優秀賞2名とする。

●**応募方法と提出書類**

次の②を所定の形式で、①③を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会事務局宛に送付すること。

なお、応募書類は返却しない。

①英文原著論文(1編)

②履歴書(所定用紙)

③過去5年の英文論文業績目録

※②については、第80回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「循環器臨床研究奨励賞募集要領」からダウンロードしてください。

●**選考結果の通知**

2015年12月中旬頃

●**選考発表(授賞式)**

第80回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●**そ の 他**

賞…賞状および副賞(症例報告部門50万円：最優秀賞1名×30万円、優秀賞2名×10万円)

●**採点項目**

「オリジナリティ・クオリティ・循環器臨床への貢献度」の3項目について、各5点満点(最低1点～最高5点)で採点を行う。

募集締切

2015年9月18日(金)17時必着

お問い合わせ先・送付先

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

(一社)日本循環器学会(JCS)事務局：

第80回日本循環器学会学術集会(循環器臨床研究奨励賞)

担当：学術集会グループ 山田

TEL. 03-5501-0862 FAX. 03-5501-9855

E-mail: meeting@j-circ.or.jp

循環器イメージング賞募集要領

●趣 旨

日本循環器学会は2013年に横浜で開催された、第77回日本循環器学会(会長：水野杏一)を記念し、わが国の循環器分野における画像研究の更なる発展、若手研究者の育成を願って「循環器イメージング賞」を設け、毎年度の優秀論文を顕彰する。

●対 象

- 1) 国内外を問わず行われた循環器学における画像に関する研究論文であること。
- 2) 応募論文は、この1年間(締切日より過去1年間)に発表されたもの、または投稿中のものであること。
- 3) 未受賞の論文(研究)のみを対象とする。国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない。
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
- 4) first author, または equal contributor, corresponding author であること。
- 5) 症例報告、画像報告(imaging)などは原則として審査対象外とする。

●応募資格

- 1) 日本循環器学会会員(正会員または準会員)であること。
- 2) 2016年3月31日現在40歳未満の者。
- 3) 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。
- 4) 応募は1施設(教室)から1名とする。

●選考方法

循環器イメージング賞選考委員会の書類選考による。受賞者は毎年最優秀賞1名、優秀賞2名とする。

●応募方法と提出書類

次の②を所定の形式で、①③を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会事務局宛に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

- ①英文原著論文
- ②履歴書(所定用紙)
- ③過去5年の英文論文業績目録

※②については、第80回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「循環器イメージング賞募集要領」からダウンロードしてください。

●選考結果の通知

2015年12月中旬頃

●選考発表(授賞式)

第80回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●そ の 他

賞…賞状および副賞(総額150万円)

募集締切

2015年9月18日(金)17時必着

お問い合わせ先・送付先

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

(一社)日本循環器学会(JCS)事務局：

第80回日本循環器学会学術集会(循環器イメージング賞)

担当：学術集会グループ 山田

TEL. 03-5501-0862 FAX. 03-5501-9855

E-mail: meeting@j-circ.or.jp